

おにぎり大使派遣事業



研修報告書 2018



Australia Sydney

キング オブ ライス (コア)

KING OF RICE (KORE)

～米は交友の核となる～



セント・メアリー大聖堂

目 次

発刊にあたって・・・P1
研 修 日 程・・・P2～3
団員・引率者感想文・・・P4～45
現地研修風景・・・P46～47
研 修 日 記・・・P48
団員・引率者名簿・・・P49

発刊にあたって

石巻地区広域行政事務組合

理事長 石巻市長 亀山

紘



本組合では、石巻圏域の将来を担う青少年の人材育成を目的に、平成三年度から「石巻地域ふるさと市町村圏基金」の利子を活用して「青少年海外派遣事業」を実施してまいりました。平成九年度からは、この事業の名称を現在の「おにぎり大使派遣事業」と改め、これまでに七百六十二人の中学生がこの事業に参加して、現在各方面ですばらしい活躍をしております。

この事業の目的は、学校訪問やホームステイを通して外国の生活・文化に直接に触れることや、現地に石巻圏域の主要産品である「米」と「海苔」を持参して「おにぎり」を作り、日本の食文化の一つとして紹介することであり、「おにぎり大使」の名称はここから生まれたものです。

本年度の派遣団は、石巻圏域内の中学校二十三校から三十二人の団員及び団長を含む引率者六人の三十八人編成とし、研修日程は、七月二十五日から七月三十一日までの六泊七日で、研修地をオーストラリアのシドニーとしました。

オーストラリアは南半球にあり、二百以上の異なる民族が混在している多民族国家です。団員たちがシドニーを訪れたとき季節は冬でしたが、日中は二十度前後まで気温が上がり過ごしやすい気候であることや、日本との時差がわずか一時間であることと、そして比較的治安が良いということから、研修地として最適だったと思います。

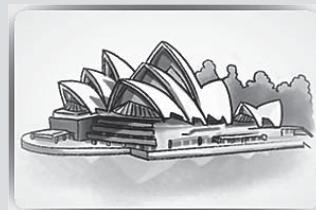
団員のみなさんはシドニーで大変貴重な経験をされ、「おにぎり大使派遣事業」の所期の目的を立派に達成したと思います。この研修の成果を今後の人生に活かし、石巻圏域の将来を担う人材に育ってくださるものと期待しております。

結びになりましたが、本事業の実施にあたり、御支援、御協力を賜りました教育機関、いしのみき農業協同組合様及び宮城県漁業協同組合石巻地域センター様などの関係機関、また、御指導をいただきました引率の先生方並びに保護者の方々に対し厚く御礼を申し上げます、発刊のあいさつといたします。

平成30年度おにぎり大使派遣団



おにぎい大使 派遣事業



▲事前研修の様子



▲出発式の様子



▲報告会の様子

研修日程

日程	時間	研修内容
6月17日(日)	9:30	結団式・第1回事前研修会
6月24日(日)	9:30	第2回事前研修会
7月 8日(日)	9:30	第3回事前研修会
7月14日(土)	9:30	第4回事前研修会・壮行会
7月25日(水)	10:00	出発式 (石巻地区広域行政事務組合)
	18:30	羽田空港到着
	22:00	羽田空港出発 カンタス航空でシドニーへ!
7月26日(木)	8:25	シドニー空港到着
	10:00	シドニー市内見学 ミセス・マッコリーズ・ポイント オペラハウス オーストラリア博物館など
	16:00	ホテル滞在、ショッピング体験
7月27日(金)	9:40	学校訪問 DULWICH HIGH SCHOOL 授業体験、文化交流など
	16:50	ホストファミリーと対面
	17:00	ホームステイ開始
7月28日(土)	終日	ホームステイ 32名の団員が15の家庭でホームステイをしました。
7月29日(日)	終日	ホームステイ
	16:15	さよならパーティ
	18:00	ホストファミリーとお別れ
7月30日(月)	9:15	シドニー市内見学 シドニータワー、タロンガ動物園 など
	18:30	シドニー空港到着
	20:35	シドニー空港出発
7月31日(火)	5:30	羽田空港到着
	13:30	石巻到着・帰着式 (石巻地区広域行政事務組合)
8月12日(日)	9:30	事後研修会・解団式
8月17日(金)	16:00	理事長報告会 (石巻市役所)
8月21日(火)	16:30	副理事長報告会 (東松島市役所)
8月24日(金)	16:00	理事報告会 (女川町役場)



▲学校訪問（歓迎式）



▲市内見学（ミセス・マッコリーズ・ポイント）



▲学校訪問（授業体験）



▲市内見学（オーストラリア博物館）



▲学校訪問（おにぎり作り）



▲団員とホストファミリーの対面



▲学校訪問（南中ソーラン披露）



▲ホストファミリーとのさよならパーティー

「おにぎり大使 派遣事業を終えて」



石巻地区広域行政事務組合
事務局長
団長 齋藤 正孝

今年四月の人事異動で本組合の事務局長を拝命したときに真つ先に頭をよぎったのが「おにぎり大使」でした。石巻市に勤務しているころから本事業のことは承知しており、この時に団長としてオーストラリアのシドニーに行くことを決心したのです。飛行機があまり得意ではなく加えて人生で初めての海外研修ということで、最初は期待を不安が大きく上回っていました。団長として「こんなことでは任務を全うできない。」と自分に言い聞かせ、モチベーションをあげることに、出発式のスタートラインに立つことができました。

私の使命は「三十二名の団員と引率者六名計三十八名の派遣団代表として七月二十五日から三十一日までの七日間の研修が素晴らしい成果をあげ、団員の一生の思い出となるよう環境を整えること、そして一番大事なことは何事もなく無事全員が笑

顔で帰国すること。」と自分に誓ったのであります。

一日目は多くの関係者に見送られるまま翌日まで機内泊で寝不足でしたが、無事にシドニーに到着し、いよいよ二日目からの現地研修が始まりました。アップダウンの厳しいシドニー市内の見学で一万歩以上歩いたため、日頃からの運動不足がたたなり、すっかりお疲れモードで前日の寝不足も手伝って、夜はホテルで爆睡状態となりました。それでも、団員たちは三日目から五日目までとなる今回の目的達成のための行動を開始しました。ダルウィッチ・ハイスクールでの学校訪問、ホームステイの開始、ホストファミリーとのさよならパーティーなどの様々な体験を通して国際交流を深め、おにぎりという日本の文化を伝えることができ、最終日のシドニー市内見学で六泊七日の海外研修を無事終えることができました。



▲学校訪問 歓迎式での団長あいさつ

帰着式で関係者の皆様に笑顔で迎えられた時には「やっとな団長としての自分の任務が終わった。」と達成感でいっぱいになったことが昨日のことのように思い出されます。

また、この事業の中で感動することもいっぱいありました。たった四回の事前研修で仕上がった南中ソーラン、堂々とした英語のスピーチ、事後研修で各班が一体となり、たった一日で完成させた壁新聞などなど。そして、空港や現地のお土産屋などで感じた「おにぎり大使」の知名度の高さにもびっくりしました。なお、詳しくは団員たちが感想文や壁新聞で紹介してくれるはずですので楽しみにしてください。

結びになりましたが、三十二人の団員、引率の四人の先生、株式会社エイチ・アイ・エス、事務局がそれぞれの役割、仕事を全うしてくれたことに対し、また、本事業を実施するにあたり、御指導、御協力をいただきました教育委員会、学校関係者の皆様並びに御支援いただきました関係各位に対し、心から感謝を申し上げます。

そして、一段とたくましくなっただけ帰ってきた三十二名の団員が今回の経験を活かし将来において、ふるさと石巻圏域のために活躍されることを期待するとともに、来年度に節目となる第二十回目を迎える本事業がますます継続・発展するよう我々事

務局も努力してまいりたいと考えております。本当にありがとうございます。



▲ホストファミリーとのさよならパーティー

「おにぎり大使 派遣事業を終えて」



石巻市立蛇田中学校
教諭 千田 光晴

新しいことに挑戦するということは、案外難しいことだと思っていま
す。「言うは易く、行うは難し」の言
葉通り、得るものがたくさんあると
しても、時間的制約やリスク、その
他諸々のことを考えると二の足を踏
んでしまうのは私だけではないはず
です。ましてや、今まで会ったこと
も話したこともない人たちと一緒に
研修を行い、オーストラリアという、
自分が行ったことのない、言葉は通
じない、文化も違うところで生活す
るとあっては尚更ではないでしょう
か？

このように考えると、この「おに
ぎり大使派遣事業」に参加した三十
二名の団員は、それぞれが高い志を
抱き、新しいことに挑戦する勇気を
持っていました。

事前研修での、固さの見られる集
団が次第に打ち解け合っていく、チー
ムとしての一体感を涵養していく様
子は、瑞々しい感性を持った中学生
ならではのものでした。研修テキス
トを見ながら英語で自己紹介やホー
ムステイ先での質問事項を考えたり、
おにぎりの作り方を話したりする姿
に微笑ましさを感じる一方、現地で
発表するスピーチをすらすらと英語
で話す姿に、私自身の英語力の危う
さを突き付けられました。極め付き
は南中ソーラン。あの短時間でよく
ぞここまで仕上げたと本当に感心し
ました。わずかに四回の事前研修でし
たが、本気になった中学生の可能性



▲第1回事前研修
(班別研修 テーマ作成)

は、計り知れないほど広がってい
きました。

「皆さんの使命は、オーストラリア
で日本の文化を伝えることです。伝
えたと言っても、相手に伝わらなかつ
たら、それは伝えていないことと同
じです。伝わるために、自分から積
極的に話しかけていきましょう。」積
極的に話しかけてほしいと思ひ、事
前研修やホームステイに送り出すバ
スの中で団員に期待を込めて繰り返し
言っていたことです。そして、団
員たちはオーストラリアでこの期待
をはるかに超えていきました。ダル
ウィッチハイスクールでは、初対面
のバディに進んで話しかけながら一
生懸命におにぎりの作り方や南中
ソーランの振り付けを教える姿や、
お別れパーティーではホストファミ
リーと和やかな雰囲気の中で談笑し
ている姿から、この「おにぎり大使
派遣事業」がどれほど貴重で、かけ
がえのない経験を中学生に与えてい
るのが手に取るように分かりまし
た。この経験は、三十二名の団員が
自分の未来を切り拓いていくうえで、
必ず大きな支えとなることでしょう。
成長した皆さんに出会えることを楽
しみにしています。

最後になりますが、このような貴
重な研修の機会を与えてくださった
石巻地区広域行政事務組合の皆様を
はじめ、関係者の皆様には深く感謝
申し上げます。これからもこの「お
にぎり大使派遣事業」が石巻圏域の
中学生の人材育成に大きく貢献する
場になることを期待しています。



▲羽田空港にて（1班）

おにぎり大使派遣事業に 参加して

青葉中学校 小野寺和珠



今回、おにぎり大使としての現地研修を終え、多くの体験を通して大切なことを学ぶことができました。

私が特に大切と思ったのはコミュニケーションです。必然的に英語を話さなければならぬ環境の中で、学校訪問やホームステイを行うことに不安がありました。しかし、バディやホストファミリーと対面すると自分の中で、積極的に話しかけてみよう、という気持ちになり、たくさん会話することができました。言葉だけで伝わらなかったらジェスチャーを交えて解りやすくするなどして、良い関係を築くことができました。どちらも最後のお別れはとても悲しいことでしたが、またオーストラリアに行き、バディとホストファミリーにもう一度会いたいと思います。

三十二人で過ごした七日間は本当に大切な思い出です。今までありがとうございました。

<p>個人行動目標 班をしっかりとまとめ、楽しい研修になるように、一生懸命活動する!</p>	<p>達成度 100%!</p>
--	----------------------

Onigiri Ambassador In Australia Home Stay

2018. 7. 25 ~ 7. 31

ホストファミリーは、笑顔で私たちを受け入れてくれました。ビーチやショッピングなど、たくさんの場所に連れて行ってくださいました。おにぎりも喜んでくれて良かったです。3日間本当にありがとうございました!!


Father Jonathan : Host
Mother Cristiane : Family
Daughter Gabriella, Georgia




Sight Seeing ~Dulwich High School~

オペラハウスやシドニータワー、タロンが動物園などを見学してきました。ガイドのミチコさんが、観光名所をおもしろく、分かりやすく教えてくださいました。レストランのご飯もとてもおいしかったです。

◦Topaz トパーズ
◦とても美人!



私のバディはトパーズ (Topaz) といふ、とても美人で同じ年の女の子でした。最初はとても緊張しましたが、時間が経つにつれ、だんだん話せるようになりました。おにぎりも、食べた後「おいしい」と日本語で言ってくれました。おみやげも、とても喜んでいました。トパーズがバディで本当に良かったです。



オーストラリアでの 七日間

河南東中学校 名久井京珠



私はおにぎり大使としてオーストラリアでの七日間の研修に参加し、貴重な体験をさせていただきました。

この七日間の研修では現地の学校訪問、ホームステイ、市内見学を行いました。その中でも特に印象的だったのはホームステイでの出来事です。その理由は次の二つです。


まず一つ目は、おにぎり作りの交流の場が私に思っていた以上にホストファミリーが、おにぎり作りに興味を持っていたことです。これにより外国人の日本文化への関心の高さを実際に感じる事ができ、日本への外国人観光客が増加している理由を実際に知ることができました。

二つ目は、オーストラリアの買い物の仕方が日本と違っていた点です。ホストファミリーと買い物に行った時、カートの大きさ、売っている物の量が日本よりも大きく日本とオーストラリアの違いを感じました。

今回の体験から、今後はアメリカや韓国など多くの国の異文化を学んでいきたいです。

<p>個人行動目標 自分からオーストラリアの文化を学んでおきだけでなく、日本文化をしっかりと伝えておきたいこと。</p>	<p>達成度 100%</p>
--	---------------------

2018 7.25 ~ 7.31

 Onigiri Ambassador In Australia

<p>DULWICH HIGH SCHOOL !!</p>	<p>シドニー市内見学♡♡♡</p>
<p>私のバディはEmilyという14才の女の子でした。とても明るい子で一緒にいて楽しかったです😊</p>	<p>オハラハウスとハーバグリッジがすごく大きくてびっくりしました。</p>
<p>学校の中もすごく広くて大きかったです!!</p>	<p>タロニが動物園で見たウサギバットがとても可愛かったです♡</p>
<p>☆☆☆☆☆☆☆☆ ☆ Home Stay ☆</p>	
<p>2日目に、海に連れて行ってもらう、大きなショッピングモールでお買い物したのがすごく楽しかったです!! さよならパーティーでのお別れがとても悲しかったです😊</p>	

オーストラリアでの学び

住吉中学校 遠藤 俊樹



オーストラリアで過ごした五日間はとても充実していて、自分にとっても良い経験ができた日々でした。

そして、オーストラリアでは二つ学ぶことができました。

一つ目は、「積極性」です。話す時や手伝える時などは相手からではなく自分からどんどん話しかけていくことができました。

二つ目は、「協力」です。今回のホームステイの時は、自分一人だったら会話がなかったかもしれません。でも二人でいたことにより話す話題だったり分からない単語などをお互いに教えあったりして話をすることもできました。

最後に、このおにぎり大使派遣事業で学んだことや生活に生かせることはしっかりと生かしていきたいです。もう一度行く機会があった時は一人でも積極的に会話などができるくらいになりたいです。

個人行動目標

記録をしっかりとる

達成度

100%

ONIGIRI AMBASSADOR

Homestay

1day

父.Gregoryさんと三男のLeoとの初対面!! 庭にトランポリンがあった!



2days

釣りやビーチ, ショッピングをしたお昼にはおにぎりを作りよるこんでもらえた! 大成功!!

Dulwich High school

パーティーのジョセは最初にわた会の司会をしたりとても優しくいろいろなことを教えてくれたりしてくれました。それ以外の人もとても接しやすく楽しく学校訪問をすることができました。

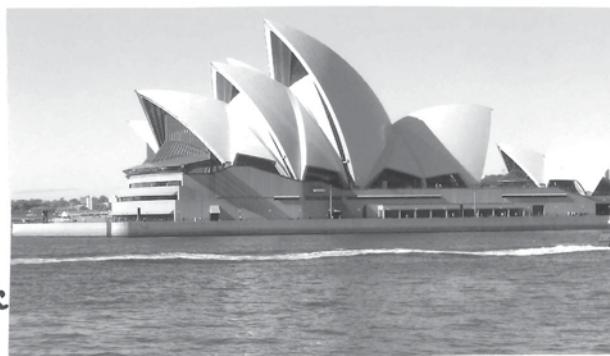


3days

朝早くにLeoのサッカー教室を見学その後ビーチへ! トータルで4ヶ所ほど見ることができました! さよならパーティーではLeoが泣いてしまいずっと一緒にいたいと思った

Sight seeing

シドニー市内の名所をいくつも行くことができよかった! シドニータワーから見る景色はとてもきれいだったレタロンが動物園ではいろんなところに鳥がいたりアアラがいたりして楽しかった。他にもいろんな場所が日本とは違かったのでとても楽しかったです!



派遣事業を終えて

女川中学校 鈴木 来哉



今回のおにぎり大使派遣事業では、大きな期待もありましたが不安も同様にありました。


その不安とは、初の海外というのもありましたが、ホストファミリーに受け入れてもらえるのか？コミュニケーションを取れるのか？ということでした。

そんな中、引率の先生に、「失敗はダメなんかないで、何もしないことがダメなんだ。ホームステイの時も、話しかけられるのを待つのではなく、自分から話しかけたい。」と、言われ、ハッとしました。その言葉の通りホームステイでは、自分から文化を伝えようと思いました。正直、初日はほとんど聞きとれずあせりしましたが、二日目、三日目と日数を重ねるごとに会話ができ、チャレンジしていくごとに意思が伝わったのはとても嬉しかったです。

ジェスチャーや知りうる英単語を使い、外国人とコミュニケーションを取れること、公共での会話ができたというのは、とても貴重で私の人生にも役立つものでした。また、互いの文化を知り理解し合えたのは、今のグローバル化にも触れることになり、とても良かったです。

おにぎり大使に参加し、体験出来たのは、多くの人の支えがあつたのだと思います。本当にありがたうございました。今回のかし良い道を歩んでいきたいと思いま

<p>個人行動目標 コミュニケーションをとり、 自分に役立てる!!</p>	<p>思い出や記録 をしっかりと残す</p>	<p>達成度 94%</p>
---	----------------------------	--------------------




ONIGIRI

ambassador / home stay, dulwich high school.


first. 1
ホストファミリー Smith さんと対面。
末っ子の Leo 君にさげられてました... (涙)
夕食はピザを食べた。(お父さんが7月なので、明日期待)

second. 2
ビーチを見せてくれたり、釣りにつれてくれた。
ショッピングや散歩など身近(一匹も釣れた)なことを見せてくれた。
おにぎりを一緒に作った。ツマミとドリンクを具として、つくり、おいしいと言ってくれた。

Third. 3.
Leo のサッカーを見た。ビーチも遊んだ。波がすごい!!
夕飯がおいしかった。 BBQ でソーセージを焼き、
サンパジャマにしたが、メッパあり。
お別れパーティー。悲しかった。ビーチも良く思い出した。



Sydney.



school.

GABRIEL (ゲイブリエル) 君をバディとして、
ダルウイッチ高校に訪問しました。
そこでは、オーストラリア特有のモーニングティーとい
う休憩時間を体験しました。また授業も体験
し楽しかったです。バディの人達ともバスケット
りなど仲を深めることができました。その後、おにぎり
をみながつくり、それぞれの特有のおにぎりをつ
くり楽しみました。ソーランも披露し、cool といわれた。
違うことを知り、体験することにより、自分の考え方を
増やすことができました。将来に生かせると思っ
みなさんぜひ!!

積極的に日本のことなどを話してコミュニ
ケーションを取れました。女川のことを説明した時に、
ヤクザの話をしてきて、外から見られたのでビックリした。
最後には、皆と仲良く貴重な体験が出来た。
ホームステイして良かった!!

おにぎり大使派遣事業を
振り返って

矢本第二中学校 小室 萌



私も新鮮で、驚きがたくさんありました。そのような体験は、特に学校訪問、ホームステイの中に多くありました。共通して感じたのは、お互いに、相手の国に興味を持っていくということです。私はオーストラリアに行くにあたり、日本のことを詳しく調べました。しかし、自分の国のことなのに答えられない質問があったので、少し悔いが残りました。もともと日本について調べていけばよかったと思います。これは、海外に実際に行つて、現地の人たちと話さなければ、感じるこのできない感情です。私は、このおにぎり大使派遣事業を通して、他国について、英語について、もっと学びたいと思いました。それと同時に、日本についてももっと学んでいきたいと思いました。初めは、不安から始まったおにぎり大使派遣事業。英語が伝わらなかつたり、理解できなかったりしましたが、最後は楽しく笑顔で終わることができました。最後に、このような機会を与えてくださった、学校の先生方、組合の方など関係してくださった方々、そして家族のみんな、おにぎり大使メンバー、本当にありがとうございました。一生忘れず、今後に生かしていきたいと思えます。

個人行動目標

一つ一つの活動に

積極的に、全カで取り組む。

達成度

120%

ONIGIRI AMBASSADOR

In Australia



ホームステイ

ホリエル 日本人 英語 英語
ホリエル カタ人 英語・フランス語・日本語
長男 ルカ 英語・フランス語
長女 リサ 英語・フランス語
次女 ミコ 日本語・フランス語 英語 中国語
とても、バズリンがしないうちで

Dulwich High School

とても親切!!

ゆっくり話してくれたり、
日本語を使ってくれたり!!

優しく、楽しかった!!

日本の文化、ソーラン
に興味深々で驚き。



ホーム
ステイ



Dulwich
High School

おにぎり大使に参加して

荻浜中学校 三國 美波



オーストラリアから帰国し、これまでの七日間を振り返ってみると案外あつという間で

した。おにぎり大使に決まった時、授業でしか英語を使わない私がいきなりオーストラリアへ行くとなると不安でしかありませんでした。実際、学校訪問やホームステイの時もうまく聞きとれなくて、曖昧な返事をしてしまうことがたくさんありました。しかし、バディやホストファミリーは私に分からせようと努力してくれました。私はそのとき本当に嬉しかったです。話を広げるチャンスなのに曖昧な返事をしていることがもったいないと感じました。おにぎりづくりに関しては、ホストファミリーのジョージがスヌーピーのおにぎりを作っていました。食べている時も、みんな笑顔でおいしいと言ってくれました。最初は不安だった私も最終的には行って良かったと感じています。

個人行動目標	達成度
積極的に行動する	90%

おにぎり大使



テーマ

KING OF RICE (KORE)

～米は交友の核となる～

HOME STAY

1日目の夜はピザ屋につれてもらいました。
2日目はショッピングモールに行って買い物をしたり、午後からは、海岸や山道を歩くウォークラリーをしました。疲れたけど楽しかったです。
3日目は有名なManly beachに行きました。久しぶりにビーチに行ったので、テンションが上がりました。



ホストファミリー
母: Mrs. Cristiane Wood (セス、クリス)
父: Mr. Jonathan Wood (ミスター、ジョン)
姉: Miss Gabriella Wood (ガビエラ)
妹: Miss Georgia Wood (ジョージ)



感想

私はオーストラリアに行くのは初めてで、石開場も何もかもが新鮮でした。達成度が全部で100%として私は90%でした。そのうちの10%は何が原因かという自分からオストファミリーと話すということが、あまりできなかったです。実際ホストファミリーからも言われました。多少間違、でも自信をもって話すことが、自分に足りないのだと実感しました。

おにぎり大使の 派遣事業を終えて

石巻中学校 土井みさき



私は六日間で一
生の宝物になるよ
うな経験をしまし
た。

ダルウィッチハ
イスカールの生徒
達は日本語を習っているようにバディとお
互い外国語を教え合いながら話すことがで
きました。今も彼女達とSNSで交流を続
けています。

ホームステイでは、ホストマザーが日本
人だったため、分からない単語を日本語に
直しながら英語で話してくださいました。
私は東日本大震災当時の体験や今の暮らし
を伝えることが出来ました。ホストファ
ザーとは日本の有名な温泉について話がは
ずみました。子供達は日本語を習っている
ため、日本語の宿題と一緒に取り組んだり
ボードゲームを楽しみました。

おにぎりを作る時は英語でにぎり方を上
手く伝えることができ、気に入ってもらえ
たことがとても嬉しかったです。

私はこの派遣事業を終え、これからも英
語力を高め、他国の方々と交流を深めたい
と強く思うようになりました。

事前の研修会から指導してくださった先
生方、広域行政事務組合の皆様本当にあり
がとうございました。

<p>個人行動目標 責任を持って行動する。班のみんなと協力する。係の仕事をしっかりこなす。</p>	<p>達成度 100%</p>
---	----------------------------

Dulwich High School

バディ : Zoe (ゾーイ)
とても優しい。バスケットが得意。
ゾーイが友達に私を紹介してくれて、おり紙を折ってみせたら
すごく喜んでくれた。日本のドラマを見て日本語を勉強している。

父 Francis さん
キャンプ、サッカーが好き

母 Yuki さん
ハイキングが好き
料理が上手

兄 Luca くん
サッカー
読書が好き

妹 Mia ちゃん
側転、逆立ちが得意。

姉 Lina ちゃん
新体操が上手。
運動することが好き。

2018/07/27
ピクニックや、ビーチに連れていって
もらった。子供達はおにぎりを喜んでくれた。

おにぎり大使に参加して

桃生中学校 佐々木そら



私は実際にオー
ストラリアに行
き、外国の文化を
知るとてもいい
きっかけになりま

した。空港内や現地であちよつとした解らないことがあつたらしおりのマナー集を見ました。一人一人が意見を出し合つて作ったものが生かされたのでとても嬉しかったです。事前研修で調べた事以外のことも知ることができました。例えば学校で授業ごとに先生が変わるのは一緒でしたが、校舎がいくつかあり授業ごとに教室も変わるそうです。教室の近くにはその教科ごとの展示や歴代の校長先生と生徒会長が書かれてあるのもありとても驚きました。ホームステイ先では全てが英語で分からない部分もたくさんありましたが言葉を簡単にしてくれて楽しく話すことができました。連れていってもらったビーチは忘れることはないでしょう。日本と違う文化が多いけれど優しく教えてもらい充実した研修になりました。本当にありがとうございます。

<p>個人行動目標 自分の仕事に責任を持ち、班長に協力する!!</p>	<p>達成度 200%</p>
---	---------------------

おにぎり大使 in SYDNEY

ホームステイ

家族
Mother → Tram
とーても優しいママ! 話かもあるしよくてす!! と 笑、ていけました!!

Daughter → Jessica
7歳の長女。ピアピカ大料理でいってても上手!! オナーとイは「何から遊んだ!」

市内見学



father → Ian
めずらしく優しい。料理も上手で「食反かいおいしい!」で... 車のスピードはやすす!!

Son → Joseph
10歳の長男。取っかしかっていたけど「かきして子猫も!!」とて話しやすかった!

Son → Jonah
4歳の次男。元気かよくてめずらしく可愛い! 7番言葉か聞けたりやすかった!!

シエスマッコーリスポイントから見た景色はとてきれいでした。他にも撮った写真かいいものはありて一匹の宝物だと思ひました。オアウイウスの屋根か真白じゃないうことか一番おもしろきました。ご食反かいし、みんなの絆も深まり楽しく食いらりました。



<感想>
7日という期間とは思えないくらいすこぶ充実した研修になりました。最初には慣れなかつた英語にも少し慣れりて、このやっぴアツたような身かしました。また研修会かあったり行きたうと思ひます。支えてくれた「エ」にたいして本当にありかたうございりました。

米と塩のようにながりを日本から世界へ共に

米塩博弁

1班 千田光晴 姓
 ① 小野玲和 三國美波
 ② 名久井京珠 佐々木そら
 土井みき 小室萌
 遠藤俊樹 鈴木来哉

ホームステイ

名久井京珠

私は三日間、トラムさんのお家にお世話になりました。最初はすごく緊張していたのですが、あたたかく迎えてくれたので、すぐに馴染むことができました。二日目には巨大ショッピングモールに行きました。エスカレーターがスローだったのがすごく衝撃的で、馴れるまで少し恐かったです。その後、海に行きました。秋なのに泳いでいる人やサーフィンをしている人が多くて、驚かないのかなと思いました。海岸からハリーポッターに出てくる不気味な見えて感動しました。夜に皆でおにぎり作りをしました。お寿司が食べたいとのリクエストがあったので、手巻き寿司もしました。皆がすごく楽しく作ってくれたので良かったです。でも、おなごは、お別れの時、とても寂しくてまだ涙がこぼれていました。これから英語を学んでみたいのが会に行きたいです。本当に楽しい三日間を過ごすことができました。

ホームステイ

三國美波

私が行ったホームステイ先は、ミセス・クリス・ミスター・ジョン・グレイ・ジョージの4人家族でした。みんなとても優しく、私たちに親切にしてくれました。1日目はバス屋に連れて行ってくれました。オーストラリアンとチキンのピザを理髪しました。個人物には、チキンより、オーストラリアンの方がおいしかったです。2日目は、小さい上海と呼ばれるシドニーモールへ行きました。フードコートには日本、中国、韓国、タイなどのアジア料理店がたくさんありました。その後は、オーストラリアの自然を歩きながら、山道や海岸を歩くウォークラリーに参加しました。途中、ホストマザーに呼ばれておみやげを買ってあげました。初めに見たので写真を撮りまくりました。



いよいよ最終日になりました。この日は最大の目的であるおにぎり作りをホストファミリーと共に行いました。おにぎり作りにはおにぎりの作り方を覚えてくれました。ホストファミリーたちはとても優しく、おにぎりをいっぱい食べてくれました。その日はお別れパーティーがあり、ソリランを披露しました。ホストファミリーとお別れするのは悲しかったけど、思い出ができました。



お別れするのは悲しかったけど、思い出ができました。

Sydney Tour



シドニータワー
 タロンガ動物園
 ミセス・マツコリィズ
 ハーパーリッシュ
 オハラハウス

望遠鏡で全方角の美しい景色が見えました。アラビヤのオーストラリア特有の動物がたくさんいました。口私達、一歩は「米塩博弁」を目標に、おにぎり大使として活動してきました。

左下にある写真はエリザベス女王が実際に座ったイスです。そこから海軍船の収容所、ハーバーブリッジ、オハラハウスの美しい景色が見えました。ハーバーブリッジとオペラハウスについて紹介します。

動物園
 タロンガ動物園
 ハーパーリッシュ
 オハラハウスの建物は、六つの建物が一つのようになっています。太陽の反射をためるために、4色を入れています。

オハラハウスの建物は、六つの建物が一つのようになっています。太陽の反射をためるために、4色を入れています。

「米塩博弁」とは、一つの物語を求め、多岐にわたるという意味です。私達はこの目標を達成できたと思います。研究を重ねる毎に物語を求め、スピードも速くなり、気軽に意見を申し合える仲間になりました。現地研修でもマナーを守って行動することができました。最後に広域行政事務組合の皆様、指導してくださった先生方、本当にありがとうございました。(土井みき)

Dulwich High School

研修三日目、学校訪問もしました。初めはお互いに緊張して話すことができませんでした。しかし、ほんの瞬間にたつことば、緊張もほぐれて、おにぎりともいろいろ話すことができました。朝には、モーニングケーキがあり、生徒一人一人に軽食が配られました。いろいろな場所でケルビー70になって食べました。その後は、授業体験やスポーツ交流があり、普段の学校生活を体感できることができて、とても楽しむことができました。また、おにぎりを作る時には、英語でジェスチャーをまじえながら伝え、一語におにぎりを食べました。その際、おいしい！と喜んでくれたので、うれしかったです。今回、文化交流ができたのは、良い経験でした。



私行きたいです。(俊樹・来哉)

編集後記

「おにぎり大使 派遣事業を終えて」



石巻市立桃生中学校
教諭 高橋 富有

おにぎり大使派遣事業の研修の機会を与えていただいたことに感謝の一言に尽きます。この事業の成功の裏には、石巻地区広域行政事務組合の方々を始めとする多くの方々の力添えがあり参加することができ、大成功に終わったと思います。本当にありがとうございます。

私自身、まだまだ未熟ものであり、このような大役の話をいただいた時は、驚きしかありませんでした。私にできるか…不安でした。関係者の方々の打ち合わせや関わりの中で自分のできることが見えてきて、引率者としての使命感がわいてきました。

四日間の研修の中で、「大使とは？」と子ども達に考えさせ、大使としていつも意識させるように伝えてきました。どの研修も時間がないうちに行う内容でしたが、子ども達がとても

意欲的であり、仲間と共に協力して取り組む姿が見られ充実していました。特に私が担当した「南中ソーラン」では、ちょっとしたフォーメーションでも声をかけ合って卒なくこなし、最後のきめポーズについても話合いでさらっと決まりました。子ども達の意欲でレベルがこんなにも上がるんだと実感しました。時間はないが子ども達はできる。では、「できる中で完璧にさせたい」と指導にも熱が入りました。やりがいがありました。発表する場面は、三回ありましたがどの場面でも、子ども達の元気の良さが出ており素晴らしいものとなりました。法被を着て「日本」をアピールできたと思います。



▲第2回事前研修
(文化交流演技練習)

また、ダルウイッチハイスクールでは、バディに南中ソーランを教える場があり、身振り手振りで子ども達は一生懸命に教えていました。掛け声をかけ合って一緒に踊ったり、逆に向こうのダンスを教えるもったり、良い交流の場となりました。初めは恥ずかしさからかうまく英語が使えず会話も弾んでいませんでしたが、おにぎり作りや南中ソーランをきっかけに互いの緊張が解け、いつの間にか積極的に会話を楽しんでいました。安心と同時に子ども達の力は「すごい！」と感じました。ホームステイでもホストファミリーと別れる時には、涙を流し別れを惜しんでいた。言葉や文化の違う国にきて、戸惑いもあったと思うが、子ども達の様子からは、一生忘れられない五日間になったと思います。

私がこの研修で一番学んだことは、この事業を成功させるために多くの方々と関わり、その方々がプロ意識を持って臨まれていることです。私自身も教師としてのプロ意識を高く持ち、教育活動に携わっていきたいと思います。また、これからは事前研修や現地で学んできたことを、皆に伝えていくことや教育活動の中で生かしていくことも務めだと思っています。今後もより多くの子ども達がこの事業に参加し、未来の石巻を

担う人として成長していけるように関わっていきたいと思っています。ありがとうございます。



▲ミセス・マッコリーズ・ポイントにて (2班)

おにぎり大使派遣事業に参加して

住吉中学校 小山 姫奈



おにぎり大使派遣事業に参加して、たくさんの方と交流することができました。

特に印象的だったのがホームステイです。オーストラリアに行き、何も分からなく不安だった私達をホストファミリーは優しく迎え入れてくれました。ホームステイ先での食事は日本食と全然味が違って私の口には合いませんでしたが、現地の食文化に触れる事が出来て、とても貴重な体験になりました。

ホストファミリーとおにぎりを作った時は、美味しい！と言ってたくさん食べてくれました。一番人気だったのはツナと海苔の佃煮。ごはんですよーと一緒に入れたものでそれ以上に海苔がとても人気でびっくりしました。そして私達はおにぎりを持って行きそれに自分達で作ったおにぎり箸置きを置き、桜の花を添えて日本スタイルにしてみました。するとそれを見てホストファミリーはとても喜んでくれたのがすごく嬉しかったです。

今回私が観光や学校訪問、ホームステイなどの体験を経て学んだ事は仲間の大切さと感謝です。おにぎり大使では仲間がいなかったらなにも出来なかったし、お互いたくさん支え合いながらおにぎり大使としての役目を果たすという同じ目標に向かって七日間を過ごしました。それと共にたくさんの方の感謝がありました。仲間はもちろん、一回目の事前研修から様々な面で助けて下さった先生方や保護者の方に感謝しながら、私が今回体験した事学んだ事を伝え、しっかりと次の世代に引き継ぎたいと思います。

<p>個人行動目標 現王長として、責任のある行動をし、 最高の現王にする。</p>	<p>達成度 120% !!!</p>
---	----------------------------------

ONIGIRI ANBASSADOR!

July 25 ~ 31 in Australia.

市内見学

市内見学では、オペラハウス、ヤセントメアリー大聖堂、シドニータワ-ヤタロンカ動物園へ行きました！オペラハウスは想像していたより大きくてビックリしました。タロンカ動物園では初めてコアラを見れて嬉しかったです！そしておにぎり大使のみんなとたくさん思い出をつくれた😊

DULWICH HIGH SCHOOL

学校訪問で私のパーティになってくれたのは、同級生の「うれ」という女の子で、日本語がすごく上手だった！開会式ではサックスを吹いてくれた!!! そして私と同じK-POPのグループが女子だったのど、本当に仲良くなれた♡そして本当に楽しかった!!!

Home Stay ★ July 27 ~ 29

1day ☀️ 夕食は手作り麦面のパスタ！優しく迎えてくれて嬉しかったです😊

2day ☀️ 午前にはビーチ、午後にはショッピングに行きました！とても楽しかったです！そしておにぎりは本当に美味しく食べてくれた!

3day ☀️ この日は午前にはショッピング、午後にはビーチへ行ったあと、お別れパーティー。3日間とても楽しかったからお別れは嬉しかったですね!!

おにぎり大使派遣事業を通して

山下中学校 大島 遥



私はおにぎり大使としての一週間を終え、とても大きく成長できたと思います。

オーストラリアはもろろん全て英語で、時には言葉が通じず、自分の英語力が欠如していることに改めて気づく場面もありましたが、現地の方々が熱心に私の話を聞いてくださり、自分なりに精一杯会話ができたとと思います。

ホームステイでは、とても明るく親切なホストファミリーに囲まれ有意義な時間を過ごすことができました。とても仲良くされたからこそ別れは辛く、お別れするときには涙が止まりませんでした。私はこのホストファミリーとの貴重な出会いを忘れません。

最後に、この事業は私にとって夢に向かう大きな一歩となりました。おにぎり大使派遣事業に携わっていただいた全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、自分もこれから夢に向かってもっと努力を続けたいと思います。

個人行動目標 誰にでも元気の良いあいさつをする	達成度 1000%
-------------------------	-----------

My trip to Australia

HOMESTAY

mother : Leah ~ 家族想いで優しい ~
 son : Serentai ~ しかり者、スポーツ大好き ~
 daughter : Indica ~ カワイイものやスイーツが大好き ~

gypsy (dog)

First day ① 朝早く起きてレドランドの兄弟を連れて行きました。彼らが経営しているレストランに行きました。そしてビーチに連れていかれました。シドニーの夜景を見ました。

Second day ② 灯台に連れていかれました。高い所から見た海がとてもきれいでした。また、ショッピングやIndicaとSerentaiの試合を観戦しました。


Third day ③





Dulwich High School ☺

学校訪問では Dulwich High School に訪問させていただきました。私のバディは Shalvica という同学年の女の子でした。Shalvica はとても親切で昼休みには学校を案内してくれました。お互いに文化を交流しあえて良かったです。そして本当に私のバディが Shalvica で良かったと思います！



Sightseeing in Sydney

市内観光ではオペラハウス、ハーバーブリッジ、シドニータワーなどを観光しました。どの景色もとてもきれいでたくさん写真を撮ることができました。そこで撮った写真は私にとって一生の宝物です！☺❤

おにぎり大使派遣事業に 参加して

青葉中学校 津田 快都



今回オーストラ

リアで過ごした五

日間は、見るもの

や聞くことや、体

験すること全てが

新鮮で、驚きと感動に包まれた、最高の五日間でした。特に自分の心に残っているのは、学校訪問とホームステイです。

ホームステイでは、言葉も生活スタイルも異なる環境で、上手く交流が出来るか、とても心配していましたが、ホストファミリーの方が、とても優しく、笑顔で接してくれたおかげで積極的に交流できました。

学校訪問では、初対面にも関わらず、とてもフレンドリーに接してくれ、楽しく会話や活動することができました。

今回の体験から多くのことを学びました。あきらめず挑戦することの大切さ、自然と笑顔にさせられるような会話の楽しさ。

このような体験を多くの人々に伝え、より多くの人々に他国の文化等に関心を持ってもらいたいです。

個人行動目標	達成度
自分の役割をしっかりとこなし 実のある研修活動を目指す	100%

ONIGIRI ~ In Australia ~

AMBASSADOR

host family



感想

生活スタイルも考え方も日本とはちがうオーストラリアで過ごしたこの体験は、とても貴重な、自分の成長へとつながった経験でした。この経験を多くの人に伝えていきたいです。

homestay

← 1日目

↓ ホストファミリーと初対面
夕食を食べた後、子供達と遊んだ

→ 2日目

海岸に行き公園で遊ぶ帰る
午後はお風呂でリラックス

← 3日目

公園にサッカーをしに行きました
そして夕方から別荘に移動
別荘はきれいで、心の中は
ファミリーの温かさでいっぱいでした

海外研修を終えて

矢本第二中学校 渡邊 悠李



これまで海外へ行ったこともなく、飛行機すら初めてだった僕がおにぎり大使として

オーストラリアへ行ったのは自分でも現実味がなかったです。オーストラリアに居るときはずっと、本当に外国に来たんだな、という気持ちでいっぱいでした。今回の研修において「KING OF RICE (KORE)」という名目のテーマでしたが、このテーマを中心にぎり作りやソーランなど、様々な場面でテーマが活かされていた研修であったと、僕は思っています。オーストラリアにて様々な人とめぐり合う機会がありましたが、その出会い全てがこの研修を造り上げていったのだらうと今実感できます。この出会いが無かったらこの研修はどうなっていたのか分からないと思います。今回の研修の中で、現地で出会った人々、そして日本の僕の親や様々な面で研修を手伝っていただいた全員に「ありがとうございます」を送りたいです。

<p>個人行動目標 英語を基本として、しっかりと話せるようになる。</p>	<p>達成度 120%</p>
---	---------------------

おにぎり大使派遣事業



ホストファミリーの集合写真☆
家の外にある家みたいな場所

ホームステイ

- 1日目：ホストファミリーとの対面式。ドキドキが止まらない！
- 2日目：海へおでかけ。海には入らなかったけど楽しかった。
- 3日目：お別れの日。最後にパーティーでソーランを上手く踊れた！！



初モノポリー！！
本物をするのは初めて楽しかった！！

おにぎり大使派遣事業を通して

蛇田中学校 阿部 想来



私は事前研修の
ときからまわりの
皆よりも英語の力
が劣っていると感じ
ていて、とても不

安でした。オーストラリアについてからの
市内観光はあまり英語を話す場面がなくて
安心しきっていましたが、次の日からそう
はいきませんでした。まず学校訪問では
さっそくバディと二人になり、助けのない
状態でした。でも今までに習った英語でな
んとか会話ができました。趣味や家族の話
をしました。そのあとのホームステイでは
とても優しい家族が私を迎えてくれました
が英語を聞きとれず、何度も聞き返してし
まうことがありました。ホストファミリー
はビーチやショッピングにつれていってく
れました。英語がうまく言えないときは教
えてくれて本当の家族のように過ごしてく
れました。
不安な気持ちで向かったオーストラリア
でしたが、現地の人のあたたかさに助けら
れ、充実した五日間を過ごすことができました。

個人行動目標

積極的に行動する

達成度

100%

ONIGIRI AMBASSADOR



DULWICH HIGH SCHOOL



私とバディになったサフロンは
笑顔がステキではすかしのや
の女の子でした。バンドが趣味
で歌を歌うのが好きだ。そう
で、サフロンは私に学校の
案内をしてくれました。はすか
しのながら私とたくさん会
話してくれました。



HOME STAY

私のホストファミリーはとっても優しい
白人家族でした。末っ子の女の子エイ
ミーは私たちのところにおりがみ
を教えるときでくれました。ずっと
私たちのところにいる笑ってる元気
な女の子でした。2日目には私をビ
ーチやショッピングにつれていって
くれました。とても楽しいホームス
テイでした。



おにぎり大使派遣事業に 参加して

鳴瀬未来中学校
丹野 怜奈



私は、おにぎり大使派遣事業に参加して普段の生活では出来ない貴重な経験が出来ました。

また、それらのことを通して多くの事を学びました。オーストラリアでの七日間の中で特に印象に残っているのは、ホームステイです。

ホームステイをする前は、英語を使ってコミュニケーションをとれるかとても不安でしたがホストファミリーの方々がとても優しく話しかけてくれて安心しました。気持ちを伝えるのは難しかったけど最後まであきらめずに日本の文化も伝えることができました。

このような貴重な経験は周りの方々の支えがあつてこそできました。おにぎり大使派遣事業で関わったたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れずに、今回学んだ事をこれからの生活に生かして自分の成長につなげていきたいです。本当にありがとうございます。

個人行動目標	達成度
周りをよく見て行動したくさんの人とコミュニケーションをとる!	90%

ONIGIRI AMBASSADOR

『ホームステイ』

Mr. Giuseppe : ポードゲームが強い!
Mrs. Carmel : 料理が上手!

7/27 ホストファミリーが優しく安心しました。ホストファミリーとやったゲームは、とても難しいけど楽しかった。

7/28 ショッピングとビーチに行きました。オーストラリアの店は、とても広くてびっくりしました! とてもきれいなビーチだった。最高!!

7/29 ショッピング! オーストラリアは、どの物も見れたので良かったです。ホストファミリーとウォーキング! 夜も楽しかったです。



2日目の夜に作ったおにぎりをたくさん食べてくれたうれしかったです。

『Dulwich High School』

私のバディは、ケイティという少しシセイな女の子でした。ケイティはおにぎりを作るのがとても上手でした。アート・ジエスチーの授業はどちらも楽しかったのでまたやりたいです!!

『観光・ワロンカ動物園』

26. 30は観光! ワロンカ動物園にも行きました。近くで見えるオペラハウスやハーバートブリッジは迫力がすごかった! ワロンカ動物園は、とても広かった!! コアラもカンガルーも見れた。

『感想』

最初はとても不安だったけど、皆と協力しながら最後まで生活できました。学んだことを生かしてもっと勉強してまた行きたいです!!

感謝

渡波中学校 山本 成佳



私はこのおにぎり大使派遣事業に参加してオーストラリアでたくさんのお事を学びました。

その中でも英語での会話は自分にとつて、とても大きな経験になりました。ホームステイでは、ホストマザーの言っていることを理解していたつもりでも少し違ったりしている部分があったので次の日は分からなかった事は聞き返すことでコミュニケーションが深まったと思います。逆に、私が言いたいことがあっても伝わらない事が何度もあって大変でした。そんな時は、長女のエイミーはホワイトボードを持って来てくれて、私の伝えたい事を理解しようとしてくれました。理解しようとする目を見て聞いてくれたことがとても嬉しかったです、感謝しています。

私は人と話すことが苦手で一回目の事前研修会では、班のみんなに心を開くことがなかなかできませんでした。でも、オーストラリアでの研修を通して班の仲間との絆が深まりました。自分のことを気づかってくれる人もいて本当に嬉しかったです。仲間の大切さを改めて実感しました。

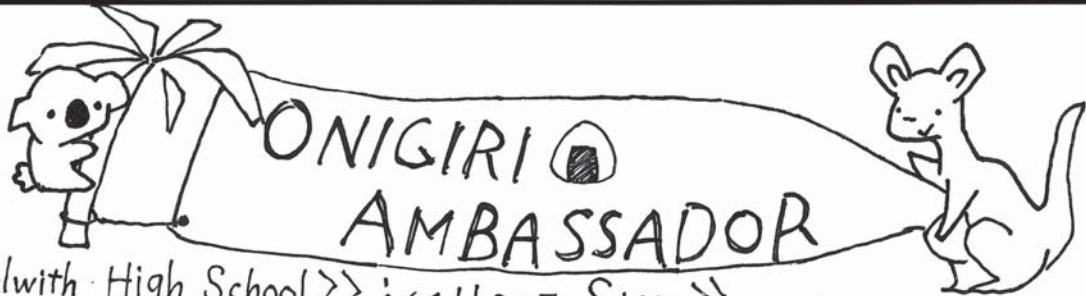
オーストラリアに行く前と今では、物事の考え方が大きく変わりました。そういう点で、自分は成長できたと思っています。なので、おにぎり大使派遣事業という経験を私に与えてくれた方々に、感謝の気持ちでいっぱいです。これからオーストラリアでの経験を生かして恩返ししたいと思います。ありがとうございます。

個人行動目標

班員の役に立つような行動をする。

達成度

100%



<<Dulwith High School>>

<<HOME Stay>>



バディの淫シカほとても優しい人でした。14歳とは思えないくらいにやっています。おにぎりをとて楽しんでくれて嬉しかったです！

<<感想>>



私達2班は、仲がよくて、団結力がとても強いグループだったと思います。私はこの班で活動できて良かったです。

私たちが泊まったニドル家は、5人家族で犬が一匹いる家でした。初日の晩ご飯はホストマザーが作ってくれたBBQでした！歓迎してくれてとても嬉しかったです。2日目はホストマザーがビーチショッピングに連れてってくれました。

オーストラリアの街並みはとても綺麗でした。オーストラリアは常に自然と共存している都会のシドニーでも、色々な動物が見られました。



ニドル家の長女、エイミーは、元気でフレンドリーな女の子で、踊ることが大好きでした。毎日3人で踊りました。エイミーの友達、オリビア、ケイト、タスとも仲良くなって充実した時間を過ごせました。

最終日の3日目は、エイミーが通っているサッカーチームの試合を見に行きました。外国ならではの音もあって楽しめました。夕方に行われたさよならパーティーでは南中ソーランを披露しました。エイミーがとても興味を持ってくれて嬉しかったです。最初は不安だったけど、無事に楽しく終わって良かったです。



出会いと別れの七日間

牡鹿中学校 伊藤 未来



「おにぎり大使
になって本当によ
かった」と心から
強く感じたオース
トラリアでの七日

間でした。私は今回、この事業を通して、
たくさんの事を学び、大切な思い出となっ
た貴重な体験をすることができました。特
にホストファミリーと過ごした時間はその
中でも特別なものでした。

私達を受け入れてくれたホストファミ
リーは、三人家族でもフレンドリーで
優しく、とても温かい人たちでした。だか
ら私は彼らを大好きになり、たった三日間
一緒に生活しただけにも関わらず別れの
時、離れたくないという感情から、とても
切なくなりました。彼らは、私たちに英語
を教えてくれただけでなく、このような辛
い気持ち乗り越える機会も与えてくれま
した。

彼らが私に教えてくれた事を、私は決し
て忘れません。そして、今後の進路、生活、
人生に生かしていきたいです。

個人行動目標

積極的に行動する。

達成度

100%

Australia



HOME STAY



母 Leach, 息子 Tai, 娘 Indica
1st... 夜ごはんのピザが美味だった。(๑)
2st... ビーチに行った。(๑)
3st... パーティーで離れたくなくて号泣 (๑)



TOURISM



- ・オペライウス
... 形が独特で印象に残った。
- ・ビーチ
... 山から見るビーチはより美しかった。
- ・ハーバードブリッジ
... オーストラリアなオーラが薄かった。



一粒一粒個性を込めて



みんな!
All the rice was moved

ホームステイ

私たちのホームステイでは、一を教えてくれました。二の差を今後生の思い出となる充実した三日間にの生活、進歩に生かしていきたいと思っております。

ホストファミリーは、とても優しく、緊張して話せない私達に、分かるようにゆっくり英語を話してくれたり、積極的に話しかけてくれました。

二日目の夜、ホストファミリーと一緒ににおにぎりを作りました。作るとき、子ども達は、とてもほいほいで楽しんでくれました。夕食、作

たおにぎりを食べました。その時、ホストファミリー全員が、デリンジャー、と言って食べてくれたのでとてもうれしかったです。

また、ホストファミリーと一緒に、お出かけした時は、一生懸命言葉を通してくれたり、説明を通してくれました。

最後に、ホストファミリーは私に英語だけでなく、たくさんのお



私達は、最終日にタロンが動物園に行くと代表するコアラ、カンガルー、カモキマシタ、タロンが動物園は千九百十六年ノハシ、ウォンバットなどがいました。

に開園しました。タロンが動物園はとても広く、四千匹以上の動物がいます。私たちはロープウェイに乗って、その広い敷地を眺めました。ロープウェイから眺める景色はとてもきれいで、感動の気持ちでいっぱいになりました。

私たちは三千コマンというスナキネカ

動物園

動物園

動物園

2班
 高橋 富有 先生
 ◎小山 姫奈◎大島 遙
 津田 快都、渡邊 悠季
 阿部 想来、丹野 怜奈
 伊藤 未来、山本 成佳
 8月12日(日)
 DULWICH HIGH SCHOOLの生徒
 ONIGIRI AMBASSADORS
 山本 成佳

DULWICH HIGH SCHOOL

私達は、オーストラリア二日目に学校訪問へ行きました。そこでは一人ずつバディを組んでいろいろなゲームをしました。最初にモニングティーという時間があり、校舎の外で小さいジュースと、ポップコーンを食べました。その後校舎に戻り、バディ達とゲームをしました。グループチャイスクールのみんなは、とても日本語が上手でたくさんお話をすることが出来ました。

たのが楽しかったです。そして最後におにぎり大使で南中ソーランを踊らう、すごく良かったよ、と言ってくれました!!!
 阿部 想来 敬啓

また、ミーアキャット、フェレット、キリンなどの

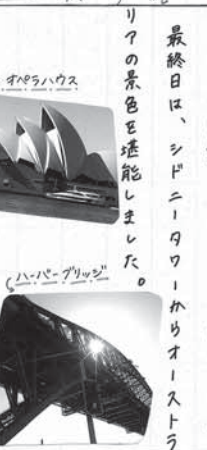
動物園

動物園

動物園

市内見学
 丹野 怜奈
 渡邊 悠季

オーストラリアでの初日と最終日に市内見学をしました。
 初日は、オペラハウス・ミセスマッコリポイント・ハーバリーグリッジなどを見学しました。近くで見えるオーストラリアの建物とは思ってより大きくて迫力がありません。また、博物館で文化について学びました。最終日は、シドニータワーからオーストラリアの景色を堪能しました。



編集後記

編集後記

今回の旅行は、とても楽しかったです。オーストラリアの文化や風景をたくさん見ることができて、とても良かったです。また、オーストラリアの友達と過ごす時間もとても楽しかったです。これからもオーストラリアについて学びたいと思います。

阿部 想来 敬啓

「おにぎり大使 派遣事業を終えて」



石巻市立山下中学校
教諭 阿部ひとみ

「おにぎり大使として、海外に行きたい！」と、中学生だった私は強く希望していましたが、その夢は私の代わりに、同クラスの友人が叶えました。それから十三年後、勤務校の校長先生に、おにぎり大使派遣事業の引率のお話をいただき、教員という立場としてはありますが、昔の夢が叶えられることに、感謝と喜びの気持ちでいっぱいになりました。

しかし、忘れてはいけないのは、団員となる中学生一人一人がおにぎり大使としての使命を果たすために、引率者として責任を持って事業に携わることです。シドニーに行つて、日本の食文化であるおにぎりの作り方を紹介する。学校訪問やホームステイを通して、外国の文化に触れる。そういった使命を果たすために、何よりも大事なことは、団員が海外でも臆せず、積極的に英語でコミュニケーションを図ることです。私は英語担当になり、団員たちが自信を

持つて現地で英語を話せるように、事前の英語研修では自己紹介やホームステイを想定した会話練習、空港でのやりとり、おにぎりの作り方の説明練習など、短い時間ではありましたが、できる限り実践形式で練習をしました。最後の事前英語研修では、ホストファミリーに手紙を書きました。これから出会うファミリーに自分のことをたくさん知ってもらいたい、シドニーではこういうことを学びたい、という熱い思いを手紙に書き綴る団員たちの様子から、本事業へのやる気を強く感じました。

シドニー一日目は、市内見学でした。シドニーと聞いて、誰もが思い浮かべるオペラハウスに目をキラキラさせたり、昼食として出てきたボリュウムたつぷりのフィッシュ&チップスに、これから一週間の海外ステイが始まるのだという期待を込



▲第3回事前研修
(英語研修 入国審査)

めて、わくわくしている団員たち。彼らを見て、これからシドニーで団員と共に、私自身も「おにぎり大使」としてたくさんのおにぎりを吸収し、成長していこうと思いました。

二日目は、メインの活動の一つである、学校訪問でした。バディとの顔合わせではドキドキしていた団員たちですが、さすがおにぎり大使。おにぎり作りの時間になると、事前研修で習った英語表現を用いて、丁寧にバディに教える姿がありました。一緒に作ったおにぎりを食べ、打ち解けた雰囲気の中で、最後は南中ソーランを披露しました。ダルウィッチハイスクールの生徒や先生方は、拍手喝采で非常に喜んでくれました。

三日目から始まったホームステイが終わり、さよならパーティーで、ホストファミリーの方々の様子を聞くと、「ウチに泊まった子どもたちは、お手伝いを進んで行ってくれて、とてもラブリーだったわ。」「おにぎり、今度作ってみようよ。」などと話しており、おにぎり大使たちは、しっかりと使命を果たしたようです。

「英語の先生になつて、またおにぎり大使に携わりたいな。」と最後の夜に話していた団員がいました。これからの人生の中で、団員たちがおにぎり大使として学んだことを糧とし、自らの道を選択していくことを願っています。



▲オペラハウスにて (3班)

結

矢本第一中学校 佐藤 邑羽



期待と不安を抱えて臨んだオーストラリアでの現地研修。楽しい思い出と共に大きく成長できた七日間でした。

最初に私の期待の一つだった、本物の英語に触れたのは、オーストラリア二日目の学校訪問の時でした。慣れない速い英語に、少し戸惑いもありましたが、自分から積極的にコミュニケーションを取ることができました。また、日本とは全く違う学校風景に、文化の違いを感じました。

ホームステイでは、お母さんが、私達にしっかり伝わるようにジェスチャーを使ったり、分かりやすく言い換えて話してくれて、とてもありがたかったです。オーストラリアの伝統料理や、日常生活についてたくさん教えてくれて、様々なことを学びました。

限られた時間の中で、自分も含め団員一人一人が成長できたのは、周りの方々の支えがあったからだと思います。中学生全員が体験できるわけではない貴重な経験をさせていただけただけに対する感謝と誇りを胸に、ここで身につけたものを将来に生かしていきたいと思います。

個人行動目標

班長としてしっかり班をまとめ、充実した活動にする!!

達成度

90%

ONIGIRI AMBASSADOR IN AUSTRALIA

Dulwich High School

My body ZARA

テニスと絵を描くと、フルールが好き! 笑顔がカワイイ!!



<Home Stay>

Mother: Joanne
Father: John
Eldest daughter: Jessica
Eldest son: Joshua
Second daughter: Jenna



とってもにぎやかであったかい家族!!

オーストラリアでしかできないことをたくさんさせてくれた! 楽しくて、充実したホームステイだった♪

おにぎり大使派遣事業に 参加して

河南西中学校 浅野 光祐



私は一週間の研修を通して、日本では味わうことができないとても貴重な体験をするこ

とができました。

ダルウィッチハイスクールでは、バディと協力しておにぎりを作り、一緒に食べました。最初は緊張して、あまりコミュニケーションを取ることができず大変でしたが、日本のアニメについて話すと、とても楽しそうに語ってくれ、またバスケットをしようと誘ってくれました。ホームステイ先では、これまでの不安が無くなるくらい優しく迎えてくれました。翌日は朝にビーチに連れて行ってもらったり、長男チャーリーのフットボール観戦など、とても楽しい三日間を過ごすことができました。

最後に、私はこの研修を通して、改めて英語の大切さを学ぶことができ、同時に自分の弱さを知ることができました。なので、この研修で学んだことを将来に繋げられるように、頑張っていきたいと思います。

<p>個人行動目標 マナーを守り ホストファミリーに受け入れてよかったと 思われる石井修にする。</p>	<p>達成度 80%</p>
--	--------------------

ONIGIRI AMBASSADOR

Dulwich High School
バディは日本のアニメが好きで、
トランプマジックが得意。



1日目...ホストマザーが料理を
ふるまってくれた。

2日目...朝にビーチに連れて
もらい、長男のチャーリーの
フットボールを観戦した。
また、おにぎりを作った。

3日目...長女のリーのサッカーを
観戦した。ホストマザーが
マジックをごちそうしてくれた。



クレイグさん
ホストマザーの
料理を手伝っ
ていた。

おにぎり大使に参加して

北上中学校 阿部くるみ



私は今回、おにぎり大使として派遣事業に参加し、たくさんの方と学び経験し、日本と外国とのそれぞれの文化の良さや生活の違いなどを知り、伝えることができました。

出発当日は初めての海外ということで不安がたくさんある一方で、海外への期待が高まりつつありました。

ダルウィッチハイスクールでは、初めて対面するバディにとっても緊張していましたが、バディとの共通点などを見つけ、お互いに英語と日本語で会話をし合いとても楽しい時を過ごせました。また、ホームステイでは、とても不安な気持ちでしたが、ホストファミリーはみんな明るくて、優しく接してくれました。普段日本では見ることのできない習慣を学ぶことができました。

今回の研修を通し、とても良い貴重な体験をたくさんすることができ、目標である日本の文化の良さを上手く伝えることができました。今回学んだことを、今後生かしていきたいです。

<p>個人行動目標 たくさんコミュニケーションをし、日本の良さを伝え、交流を深める！</p>	<p>達成度 100% ♡♡</p>
--	------------------------

ONIGIRI AMBASSADOR

- HOME STAY ♡
- 1 エシカのバースデイパーティーをしたり、一緒に折り紙をしたりして仲を深めました♡
 - 2 今日はランチにみんなでおにぎりを作った後は、オーストラリアの長い距離をバイクで、BBQをしました!!
 - 3 最終日は、ファミリーとショッピングに行きました! お昼にはテラスでランチをしたりとても楽しかったです♡



DULWICH HIGH SCHOOL ♡

ARIELLE ♡♡♡

ダルウィッチハイスクールの人たちはみんな初めての会うのにとっても親しみやすくとても楽しい時間をすごせました!!!
アリエルはとても優しく接してくれました!! 短い時間でもたくさんおしゃべりしたりして、仲を深めました♡

おにぎり大使派遣事業を 終えて

湊中学校 杉浦 布実



今回のおにぎり大使派遣事業を通して、とても多くの貴重な体験をすることができました。

特に、学校訪問やホームステイでは、オーストラリアの文化や環境の違いなどに、直接見て触れて体感することができ、かけがえのない時間を過ごすことができました。学校訪問でのバディとは、時間があつという間に過ぎてしまったと感じるほど、とても仲良くなれました。

ホームステイ先では、ファミリー全員がとても優しく、私の不慣れな英語での質問にも、ていねいに耳を傾けてくれて、意味が通じた時はとても嬉しかったです。また、ファミリーの皆さんがおにぎりをとても美味しそうに笑顔で食べてくださり、特にのりが大人気だったことが印象的でした。

最後に、このようなとても貴重な機会を与えてくださいました校長先生や先生方、広域事務組合の皆様、そして支えてくれた家族に感謝し、今後の自分の成長につなげたいです。本当に、ありがとうございます。

個人行動目標 積極的に行動して悔いの残らないように活動する!!	達成度 100%
---	--------------------

ONIGIRI AMBASSADOR in Sydney



HOMESTAY

7/27 ホストファミリーと対面!!
庭も広く、奥にはプールもある大豪邸!!

HOST FAMILY

父: John (58) 長男: Joshua (10)
母: Joanne (46) 次女: Jenna (8)
長女: Jessica (13)

7/28 お風呂、一緒におにぎりを作った!!
とっても喜んでくれた!!
午後からハイキングに行った!!
つかれたけど楽しかった~



7/29 ショッピングモールにつれてもらって、おみやげをたくさん買いました。
その後のビーチはとってもキレイだった!!
充実したホームステイでした!!

DOLWICH HIGH SCHOOL

14歳
ソライア



私のバディは、ダンスが好きな女の子!! 父親がオーストラリア人、母親が日本人のハーフの子でした。日本語は私より、とっても上手で、ビックリ!! 海外の学校を見ることができてとてもよかったです。

おにぎり大使になって

感じた事

河北中学校 鹿野 真聡



今回のおにぎり

大使派遣事業で

は、四回に及ぶ事

前研修を経て、

オーストラリアに行きました。海外に行った事が無かった上、学校の代表として参加したため、とても不安でしたが、オーストラリアに着いてみると色々な事が日本と違い、驚きと楽しさで不安はすぐになくなりました。

おにぎり大使という特別な経験を通して、オーストラリアと日本の違いや似ているところ、それぞれの国の良いところをテレビなどでは無く、実際に行って体感することでも有意義な時間を過ごす事が出来ました。

この経験を自分の将来に生かすと共に、オーストラリアで触れ合った人々に日本の文化を伝えられ、とても良い研修になったと思うので、様々な面で今回の経験を役立てたいです。

個人行動目標	達成度
班の人と協力して活動し、他の人に迷惑のかからないようにする	70%


おにぎり大使

〈ホームステイ〉

- ホストファミリーは...
 - 母...シャネル 長男...チャーリー
 - 父...クレイブ 次男...ジョーディ
 - 長女...リリー 犬...ヘンリー
- ホームステイにて
 - ホームステイ先には別にホームステイをしている中国人の16歳と12歳の男の子がいました。
 - ホームステイ中は長男チャーリーのラグビーや、長女リリーのサッカーの試合を見たり、ビーチに行ってズボンを買って海に入りました。その後転んで全身濡れて大変でした。

〈学校訪問〉

- バディは明るく元気な Rafe 君でした。



← Rafe 君

- いっしょに美術の授業を受けたりご飯を食べたりバスケットボールをして楽しく過ごしました。
- プレゼント交換の時彼がプレゼントをたれてきてしまったのですが代わりにいつも持ち歩いているバスケットボールをくれました。

おにぎり大使に参加して

鳴瀬未来中学校 佐藤 可奈



今回のおにぎり

大使で私は「自分から積極的に行動する。進んで英語を話して、コミュニケーションを取り日本文化を伝える」を

目標にオーストラリア研修に行ってきた。始めはとても消極的になってしまいましたが、手く聞き取る事も難しかったのですが、ホームステイ先などで「リラックス」と言われようやく落ちつく事ができて、ホストファミリーと楽しい二日間を過ごす事ができました。自分から五歳のローラというホストファミリーの娘さんやオズカーとたくさん話して、折り紙をたくさん作ったのが一番楽しかった思い出です。オズカーが、折り紙は少し難しいけどカッコイイと言ってくれて、とても嬉しかったです。

これを機に、今回関わった人達だけでなく、これからも多くの外国人と積極的に携わり、日本文化を伝えながら自分の夢を叶えていきたいと思えます。

個人行動目標

自ら積極的に行動する

達成度

100%

ONIGIRI AMBASSADOR in Australia

10日と5日目

色々な場所を観光してきました。特に私はシドニータワーが印象に残っています。バスガイドのミチコさんの話をバスで聞きながら、オーストラリアの事をたくさん学びました。動物園はロープウェイなどでゾウやキリンを見ました。コアラは想像していたよりおどおどしかったです。

HomeStay

(母) レベッカ (父) デイモン

(兄) オズカー [8] (妹) ローラ [5]

海にたくさんつれていって楽しかった!!

夜はハーバグリッジとオペラハウスのライトアップ☆
フいで近くの遊園地にもつれていってもらい、

10:00くらいまでアトラクションにのった♡

レベッカさんの料理がとってもおいしかった!!

ローラとオズカーはおりがみと紙風船とおにぎりを気に入ってくれた♡



おにぎり大使派遣事業を
通じて

飯野川中学校 高橋 裕奈



私は、おにぎり大使派遣事業に参加して、見てきたもの、経験してきたこと全てが貴重で大切な思い出となりました。

その中で一番よかったと思うことは、オーストラリアの人々と英語でコミュニケーションをとることができたことです。英語を使って外国人と会話をするのはあまりないことなので、とてもよい経験をしたと思います。

ホストファミリーやバディとの会話では、緊張しましたが、自分が話した英語が伝わった時は、とてもうれしい気持ちになりました。私の上手とは言えない英語を理解しようと、最後まで聞いてくれた時は、オーストラリアの人々の優しさを感じました。コミュニケーションをとることがいかに大事かということが今回の経験を通じて分かりました。

ここで得た経験をこれからの進路に役立てていきたいと思っています。
最後に、私に、このような機会を与えてくださった先生方、家族、支えて下さった方々に感謝しています。本当にありがとうございました。

個人行動目標

おにぎり大使としての自覚を持ち
なから学ぶべきことをしっかりとやる!

達成度

100%

ONIGIRI AMBASSADOR

HOME STAY FAMILY

1日目: ファミリーと食事
夕食はBBQでビックリ!
2日目: シドニーの街中につれてもらった
夜はおにぎりをたくさんつくった!!

Mather-Rebecca
Father-Dean
Son-Oscar
Dougher-Rola



Rebecca
いつもおにぎり
が大好き!

3日目: ビーチに行き、フィッシュ&チップスを食べた!
さよならパーティーで披露したソランをほめてもらいました!!

Oscar
サッカー
少年



DULWICH HIGH SCHOOL

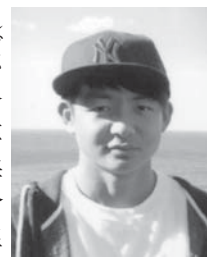
バディはZANE!(ゼン)
日本文化が好きで日本語を勉強しています。
日本のお土産をととても気に入ってくれました!!

Zane Shearer
15歳
日本語勉強中



おにぎり大使派遣事業を 終えて

蛇田中学校 三浦虎次郎



僕は、今回のおにぎり大使としてオーストラリアの方々に日本の文化を伝えられた事が一番嬉しいです。今回の活動がなければ、人生で海外に行けたか分からないし、他中の代表の友達とも仲良くなれる事も無かったので、広域行政事務組合の方々をはじめ、自分を代表に選んでくれた校長先生と英語の先生、HISの方々、一緒に研修から頑張ってきた先生方とみんな、全力でサポートしてくれた親に本当に感謝したいです。

オーストラリア研修の学校訪問ではバディと出会い交流しました。バディはとても面白くて良い人で、下手な英語を分かってくれようとして、申し訳なくなりました。でも、「とても上手いよ英語」と言ってくれて、少し自信ができました。それからバスでホストファミリーが待っている場所へと行き、お父さんに会い自己紹介をして家へ向かいました。家に着くと中国からもホームステイに来ている人がいて、家では三カ国語が飛び交っている場面もあり、楽しかったです。子供達はおにぎりをおいしいと言ってくれて、良かったと思います。僕たちが文化を伝えるだけでなく、オーストラリアの文化も知れたので満足です。

僕はこの事業を終えて、日本との違い、食生活などで普段知ることのできない事を、近くで見れた、知れたというのは人生の中で大きな経験になりました。この体験を活かしてこれからも一つ一つ頑張っていくと思います。

個人行動目標	達成度
しっかり学び、充実した研修にする。	95%

- おにぎり大使 - 7月25日~7月31日

- Dulwich High School -
バディ: Rios

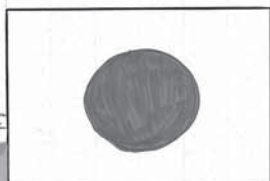
学校訪問では、日本語担当の先生とバディ達とホームで交流したり、美術の授業も体験したりと貴重な体験でした。

Host Family
 Mother: Chanel ... 家族思
 Father: Craig ... とても優しい
 Daughter: Lili ... サッカー少女
 Son: Charlie ... ラグビー
 Son: Jordy ... とてもかわいい
 現地のラグビー - サッカーは
 とても熱く見ていて楽しかった
 です。
 いつも気にしてくれて
 話しかけてくれたりとか
 ショッピングやピクニックに
 連れて行ってくれて
 とても良い家族でした。



2018/07/29

Rice Connect the World



繋



3班メンバー

- 阿部ひとみ先生
- 佐藤 邑羽 浅野光祐
- 鹿野 真聡 阿部くるみ
- 高橋裕奈 三浦虎次郎
- 佐藤 可奈 杉浦 布実



私たちは、四人家族の家にホームステイをしました。その中で特に印象に残っていることは、ビーチにたくさん連れていかれてもらって、海で遊ぶことでした。ビーチは場所のビーチに連れていかれてもらって海で遊ぶことでした。オーストラリアは冬でしたが、季節関係なく多くの人で賑わっていました。その日の夜、ご飯を食べ終わった後に「ライトアップされたオハラハウスを見に行かない？」と言われていたので、見に行きました。ライトアップされたオハラハウスとハーバーブリッジはとてもきれいでした。その後にルナパークという遊園地に連れていかれてもらい、ジェットコースターと速く回る観覧車に乗ったりして、とても楽しかったです。ホームステイを通じて家族と楽しい時間を過ごすことができましたし、ホストファミリーの優しさを感じました。

高橋裕奈
佐藤可奈



Dulwich High School

私達は、ダルウィッチハイスクールへ学校訪問に行きました。初めて対面するバイリンガルにも緊張しましたが、みんな温かく向かえ入れてくれました。朝の「モーニングティ」ではオーストラリア独特の習慣を体験することができました。おにぎり作りでは事前研修で学習したことを生かし、うまく英語で説明することができました。また、ランチタイムでは現地有名な「キチン」を食しながら一緒にダンスをしたりして交流を深めました。短い時間でしたが、積極的にたくさんコミュニケーションをとって仲を深めたいとたくさんコミュニケーションを伝えることができました。



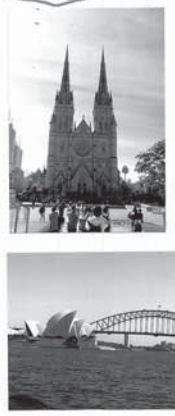
阿部くるみ
三浦虎次郎

私達はオーストラリアを代表するオハラハウスやハーバーブリッジを観光しました。オハラハウスでは、特徴的なデザインで、歴史を学ぶことができました。ハーバーブリッジでは、なかなか見ることができない橋の下からの景色を見ることができ、とても迫力がありました。タロン動物園では、園内がとても広く、時間内で回り切ることができませんでした。また園内には入園してすぐにロープウェイに乗ることができ、園内には様々な動物がいて、そのほとんどが檻に自然に近い状態で飼育されているのびのびと暮らしていました。見ることができ、とても楽しいです。



鹿野真聡
浅野光祐

市内観光



ロープウェイがあり、私達は乗りました。園内には様々な動物が入っているのではなく、とても楽しかったです。日本の動物園とは違い、オーストラリアではカンガルー、カモノハシなどを時間を過ごすことができました。

編集後記

お疲れ様です。この冊子は、私達四人家族のホームステイを通して、オーストラリアの文化や習慣を学ぶことができました。また、ダルウィッチハイスクールでの学校訪問も大変楽しかったです。この冊子を通して、オーストラリアの魅力を多くの人に知ってもらえればと思います。編集者 阿部ひとみ

「おにぎり大使 派遣事業を終えて」



東松島市立鳴瀬未来中学校
教諭 石黒 弘昭

本事業「おにぎり大使派遣事業」において、本研修の目的である「自国の文化・伝統・産業を紹介し、外国の文化及び生活習慣などを学び、体験すること」を大切にしていくことにした。また、「おにぎり大使」の一員として、現地の方々と「生きた英語」を活用していこうという期待感を膨らませ、日本を出発しました。

本事業を通じて学んだ点は二点あります。一点目は、異文化交流を通じて心が触発された点です。研修三日目のダルウィッチハイスクールでは、生徒達がバディと初顔合わせをし、英語を使うことに四苦八苦しなながらも、対話する姿が印象的でした。互いに対話をする中で、ある生徒は英語を伝えたいという思いが強くなりました、「先生、これはどう伝えればよいのですか?」と質問がありました。質問に答えると、「ありがとうございます

ます!」と生き生きとした表情で颯爽とバディと対話を始めました。「生きた英語」というのは、まさに「現場」でこそ培うことができると感じた瞬間でした。オーストラリア訪問が、本気で英語を勉強しようという動機付けになった生徒も少なくありません。それは、南中ソーランを通して同じことが言えました。「南中ソーラン」では、綱を引くことや法被を着て踊ることの意味などを現地の学生に英語で伝え、ハイスクールの校庭で三十二名全員が心を一つに演舞を披露しました。演技後、瞬く間にバディから感動の拍手が。生徒達は皆笑顔でした。演舞後、肩を組み合って笑顔で写真撮影をし、別れを惜しむ姿が見受けられました。まさに、



▲第1回事前研修
(アイスブレイキング)

おにぎり大使として、日本文化を伝えることができたワンシーンでした。おにぎりづくりでは、バディ達が目を輝かせながら、「Delicious!」や「Good Taste!」と喜んで日本の食を楽しんでいました。生徒達がおにぎりの魅力やおいしさを伝えながら、一緒ににお米をほおばる姿がほほえましく、嬉しい限りでした。

ホームステイの研修を通して、「英語が話せなくて悔しく、次こそ英語で伝えられるように勉強したい」という熱意が高まった生徒がたくさんいました。私自身も過去に、ホームステイをさせていただいた経験とともに、ホストファミリーとのお別れの後のホテルでのミーティングにて、「ホームステイは、目の前の家族の文化や、その家族の温かさに触れる貴重な体験だったと思います。絶対に忘れず、この絆を大切にしてください」と班のメンバー伝えました。ホームステイは文化の壁を越えて、人とのつながりを深く結びつける舞台。中学生にとっては、今後の生活において、将来につながる大きな出会いであったに違いありません。生徒達の姿を通じて、私も触発を受け、英語教員としての力量を更に高めていきたいと決意させていただきました。今回学ぶことができた現地の文化を、勤務校や地域に発信していき、海外

の魅力を多く伝えていきたいと思えます。最後になりますが、オーストラリアの地にて、「おにぎり大使」として共に活動させていただきました、石巻地区広域行政事務組合の皆様、田中の小城さん、柴田さん、引率された千田先生、高橋先生、阿部先生、一人一人に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



▲タロンガ動物園にて (4班)

7日間を振り返って

万石浦中学校 小山凜太郎



私は、平成最後のにおにぎり大使としてオーストラリアの様々な文化や自然を学び、体験することが出来ました。

この七日間はとても充実しており、そしてとてもあっという間に終わってしまいました。

ダルウィッチハイスクールでは、バディのダニエルと、学校を周り、バスケットを皆と一緒にしたり、おにぎり作りの時、ダニエルが手の上にごはんを置いた瞬間「とても熱い。」と何度も言っていました。その後に、おにぎりを食べた時、「おいしい。」と笑顔で言っていました。

ホームステイでは、充実した三日間を過ごしました。初日は、お母さんと近くの店に買い物に行きました。帰ってからシャワーをしようと思いついて何分使ってもいいと聞いたところ「五分」と言われ驚きましたが、ドキドキした初日が終わりました。二日目は、八時頃に起き、仕度をしました。するとお父さんが乗馬をする場所や、山の中を案内してくれました。嬉しいことに野生のワラビーを見ることが出来ました。帰ってから映画をお父さんと鑑賞しました。最終日は、船に乗せてくれたり、市場に連れて行ってくれたりしました。

さよならパーティーは、ホストファミリーとの別れが辛く悲しかったです。私は、この研修をさせてくれた様々な方々に感謝し、将来この学びと体験を生かせるようにしていきます。

個人行動目標 「おにぎり」と言う文化を通して、日本の文化を教えたり、オーストラリアについて教わりたい!

達成度

80%



in Australia

～ダルウィッチハイスクール～

バディ：ダニエル
色々な人にfriendlyでとても面白い人でした。ダンスが好きらしく、少しだけ披露してもらいました。

～ホームステイ～

Father: ポーター → 映画金鑑賞が好き
Mother: シヤチ → 買い物が好き
son: ジョン → サッカーが好き



ホームステイの3日間は私にとって素晴らしい思い出となりました。お父さんと映画を見たりお母さんと買い物したり、最後は船に乗せてくれました。これらは私にとっていい体験でした。



おにぎり大使派遣事業に 参加して

矢本第一中学校 佐藤 叶望



私は、おにぎり大使としてたくさん
の事を学び、日
本の文化をオース
トラリアの人々に
伝えられたと思
います。

まず、伝えられたことは、おにぎりだけではありません。日本の祭りや言葉、抹茶のたて方なども一緒に伝えられました。どんな事にも興味を示して、話を聞いたり質問をしたりしてくれて、とても嬉しかったです。

学んだことは、もっとたくさんあります。例えば、英語の楽しさです。自分の伝えたいことを英語で話し、それを相手に理解してもらえると、もっと英語で話したい、という気持ちになりました。どうせ伝わらないという後向きな考えでは出来ることも出来なくなってしまう。学校の友達などに英語で話すことの楽しさを伝えて、もっと皆が積極的に英語に触れていけるようにしたいです。

更に、お互いを尊重することの大切さを学びました。バディと行動したり、ホームステイをする中で、家族の仕事を手伝ったり、話を真剣に聞いたり、ほめたりすると、お礼の言葉や真摯な姿勢が返ってきます。それは、日本もオーストラリアも一緒に、最も大切なことだと思います。親や先生、友達などに、常日頃から感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。

<p>個人行動目標 コミュニケーションを取り文化交流をする。</p>	<p>達成度 80% くらい</p>
--	------------------------

自分で出来たと思うこと。

①お礼の挨拶

「お店で商品を買ったときや、何かをしてもらったときなどに、お礼の言葉を笑顔で必ず言うことが出来た。その時、「ユアウェル」などと どういたしまして！みたいなことを言ってくれた。オーストラリアの人は感謝を忘れず、また、人の気持ちを無視しない優しい人たちだと感じた。

②相手に伝える努力

「やはり、前から練習をしていたとはいえ、伝わると思っていた言葉が伝わらなかつたり、教科書とかの英語とは違った表現だったり、話すことが大変だったけど「身ぶり手ぶり」や絵などで、頑張って伝えて、しっかりあかってくれる場面も多々あった。日本に居たら、単語を調べたり、ツェスチャーで伝えたりすることはあんまり無いから、良い経馬食が出来たし、知識もちよっと増えた。日本のことを伝えられた。」

反省点

○緊張した！

「最初はあんまりしゃべれなくて、聞かれたことを答えるだけだった。」



おにぎり大使派遣事業に 参加して

女川中学校 高橋 小紅



私はこのおにぎり大使派遣事業に参加し、とても有意義な時間を過ごすことができました。感じています。

私が今回オーストラリアへ行くにあたって一番の目標にしていたことが、「自分から交流を」ということでした。ホストファミリーや学校訪問でのバディが声をかけてくれる前に自分から話しかける、ということに初めは少し抵抗がありましたが、一度チャレンジしてみたら、その次からは自分から話しかけることが普通になっていました。拙い英語ではあったものの、ホストファミリーやバディのみんなが理解しようとしてくれたおかげで、伝えたいことをしっかりと伝えることができました。「頑張れば自分の英語でも理解してもらえるんだ!」と嬉しくなった反面、「もっと英語を話せるようになりたい!」という悔しい気持ちもあったので、もっともっと英語を勉強してから、またオーストラリアへ行きたいと思います。

今回のオーストラリアでの経験は、自分にとってとても大切なものとなりました。この経験をさせてもらったことへの感謝を忘れず、これからの生活に幅広く生かしていきたいと思っています。

個人行動目標

列王のみんなとも現地の人とも、たくさんコミュニケーションをとる☺

達成度

120%

Onigiri Ambassador

July 25~31, 2018 Australia Sydney



<School visit>
和のバディのJuan!
なほと真歩ちゃんのバディ
のMiguelの双子の弟
でした!!!!



☆ Juan ☆ Miguel ☆



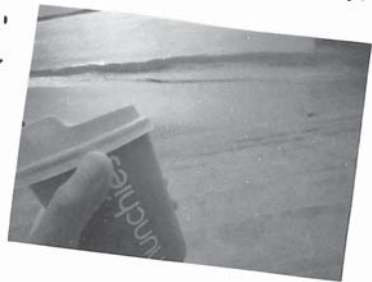
<Homestay>
Steggles家に3日間お世話になりました。
とても優しいお父さんとお母さんに、かわい
い人の子供たちと過ごすことができて、
本当に本当に楽しかったです☺



Chase

Indigo

みんなとBBQをいり、
Indigoとビーチで遊ん
だり、Chaseとゲームを
して遊んだり...
一生の思い出が
できます!!!



おにぎり大使派遣事業に 参加して

門脇中学校 中里小冬那



私はこのおにぎり大使の活動を通してたくさんのごことを学ぶことができました。

まず観光では有名なオペラハウスが印象に残っています。一つの建物ではなく、いくつかの建物が重なって一つに見えるということが驚きました。

学校訪問では日本との違いをたくさん学ぶことができました。ソーラン節も上手く行って良かったです。

ホームステイでは、小さな子供たちにたくさん触れることができました。本を読んでもらったり、ゲームをしたりとても楽しかったです。パーティーには親戚の大人の方々がたくさん話しかけてくれてとても楽しかったです。頑張って私の話を理解しようとしてくれて嬉しかったです。お別れパーティーではとても悲しくなりましたが、このホームステイで学んだことを活かし、これからも頑張りたいです。

この体験は本当に貴重な体験だったのでしっかりとオーストラリアの文化を日本に伝えられるようにしたいと思います。

個人行動目標	達成度
文化をきちんと伝える！	90%

観光

- ・オペラハウス他にも見物した。
- ・美しい海を見ることができた。

学校訪問

- ・ソーラン節上手かった。
- ・日本の学校との違いをたくさん学ぶことができた。

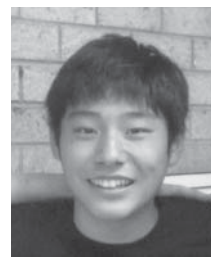
ホームステイ

- ・小さな子供たちと遊んだり、積極的に話すことができた。
- ・大人の人々もたくさん話しかけてきてくれて理解しようとしてくれた。



おにぎり大使派遣事業に 参加して

石巻中学校 内藤 輝



今回、おにぎり大使としてオーストラリアへ行き、色々なことを学ぶことができました。自分は、英語が得意ではないため、オーストラリアに行く前は不安でしたが、海外で過ごすことへのワクワクした気持ちの方が大きく、とても楽しかったです。

二日目に、学校でバディと対面し、一日過ごしました。ここで、積極的に話しかけることの大切さを学びました。外国人と話すのはこの日はじめてだったので、緊張しました。相手も緊張していたようでしたが、同じ中学生であることに変わりはないのだと感じ、それからたくさん話しました。自分の知っている単語をつなぎ合わせて、全力で伝えれば、言いたいことはだいたい伝わりました。

その日の夕方に、ホームステイ先に行きました。ホストファミリーのみんなは、温かく迎えてくれました。バディと話して学んだことを生かし、たくさん話しかけました。どうしても伝わらなかつたり、分からないこともありました。きつとたくさん迷惑をかけましたが、ホストファミリーと過ごした三日間が、一番楽しく、一番学びが多かったです。三日という短い間でしたが、自分にとって一生忘れることができないうい出です。私は将来英語が話せるようになって、また会いに行き、話したいです。

この七日間で学んだことは、自分の将来に必ず生かそうと思います。そして、周りの人たちにも伝えたいです。とても充実した七日間でした。おにぎり大使派遣事業に携わった全ての方々に感謝しています。本当にありがとうございます。

個人行動目標	達成度
たくさん話す！	100%

おにぎり大使

ホームステイ

1日目 みんなでサッカーのTVゲーム♪
夜ごはんはラザニア。おいしかったです..

2日目 朝はビーチへ！ 絶景。その後はベンのサッカーを見て、ミックもいっしょに試合をしてあげた。楽しかった。トランポリンもした。夜はBBQ！

3日目 冬の海を泳いだ！ 冷たいけど楽しい。ベンとマークとサッカーとラグビーをした。ホストファミリーに年紙をかいてわたした。ホームステイの3日間は一生の宝物。

学校訪問

バディと1日過ごす。
バディのリュベンはおりがみが上手！
日本が大好きで、ナルトを知っていた。髪型がステキ。



おにぎり大使派遣事業に 参加して

河南東中学校 佐々木竜登



僕は、おにぎり大使派遣事業に参加して貴重な体験をすることができました。一番印象に残っている出来事は、学校訪問と

ホームステイです。

学校訪問では、日本の学校との違いを体感することができました。バディとは、最初は緊張してしまったり、言葉が通じないこともありましたが、一緒にご飯を食べたり、昼休みにバスケットをして、とても仲良くすることができました。おみやげも喜んでくれたし、ソーランを楽しんでくれたので良かったです。

ホームステイでは、英語が通じるか、ファミリーと仲良くできるかとても不安でした。でも、ビーチにつれていってくれたり、サッカーやフットボールをしたり、一緒にゲームをしたりして家族の優しさを知り、安心することができました。海外の文化を知り、英語で話すこともできて、とても良い経験になりました。

今回学んだことを一生の宝物として心に刻み、これからの生活、人生に生かしていきたいと思っています。

そして、今回支えてくださった沢山の方々、先生方、班のメンバーにはとても感謝しています。みなさんのおかげでとても良い研修にすることができました。本当にありがとうございました。

個人行動目標

積極的にコミュニケーションをとる。
楽しい研修にする。

達成度

95%

もっといっぱい話をすればよかった。

おにぎり大使

ビーチで泳いだ！
サッカーをした！

Jo
とても優しく面白い
お母さん。

Makayli
ネットボールが好きな
面白い女の子。

Ben
サッカーが好きな男の子。
朝からずっとゲームをしている。

Mark
優しいお父さん。
フットボールを教してくれた。

Mitch
ソフトボールを見ている
優しい男の子。

いろいろな所につれて
いってくれる優しい
家族だった。別れが
さみしかった。
また会いたい...



Dulwich High School

バディといっしょにおにぎりを作ったり、バスケットをしたり、とても楽しかった！



おにぎり大使で

学んだこと

雄勝中学校 阿部 洋都



今回僕はこの派遣事業を通して、たくさんの方の学びました。

その中でも一番の経験が英語でのコミュニケーションです。研修や学校の授業でも英会話の練習はしていましたが、オーストラリアの人に自分の英語が伝わるかとても不安でした。オーストラリアの空港では、あまり英語を使うことはありませんでしたが、ホテルや学校では英語を使う場面がとても多く、自分の英語が伝わった時は、とても嬉しかったです。

ホームステイでは、ホストファミリーが自分の家族のように接してもらえたので、とてもおにぎりのびとした楽しいホームステイになりました。

おにぎり大使での経験を、これからの自分の糧として、自分の人生につなげていきたいと思えます。自分がこの事業に参加できたのは、先生方や親のおかげです。そのことを心から感謝しています。本当にありがとうございました。

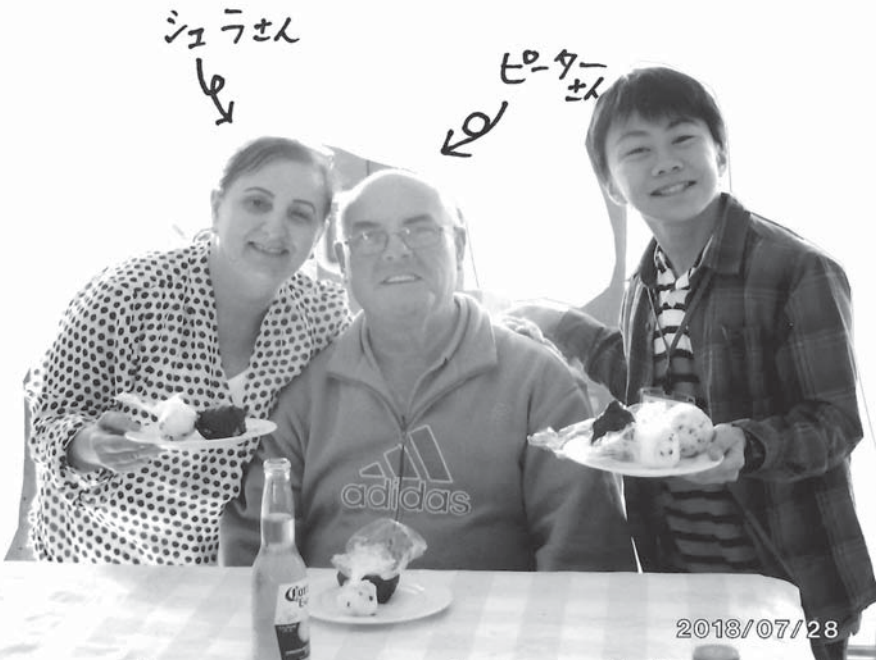
個人行動目標

毎日元気に元氣張る！

達成度

120%

おにぎり大使
in Australia!



ホストファミリーは本当の家族のように接してもらえました。ホームステイ2日目には、サッカーの試合に連れて行っていただきました！

バティのカインズは、少しシャイでしたが、学校のことをいっぱい教えていただきました。

一生の宝物

稲井中学校 櫻井 真歩



おにぎり大使としてオーストラリアで過ごしたこの五日間は、私にとつて忘れられない

いとでも貴重な体験となりました。

期待と不安の中始まった研修。きれいな街並みに様々な国の人々、英語で溢れている空間に感動したこと、今でも覚えています。

そして、この五日間でいちばんの思い出であるホームステイ。初めのうちは緊張もあり全く聞きとることができず、話しかけられたことにただ相づちをうつことしかできませんでした。しかし、「聞きたい」「伝えたい」という一心で必死に聞いていると少しずつ聞きとれるようになり、自分からも話しかけられるようになりました。例えば話す言葉が違っても「聞こう」「伝えよう」という気持ちがあれば伝えることができ、成長できるのだと思いました。

この派遣事業で学び、経験したことは私にとつて一生の宝物です。今まで支えてくださった方々、本当にありがとうございます。

<p>個人行動目標 誰にたいしても自分から コミュニケーションをとる</p>	<p>達成度 90%</p>
--	---------------------------

HOMESTAY

Australia
July 25~31

1日目

不安でいっぱいの中迎えたホームステイ1日目!最初は緊張していましたが、少しずつほぐれていきました。マローさんが作ってくれたハンビーを食べた後は映画鑑賞!とても優しく明るい方でした。



2日目

2日目はパンケーキ作りからスタート!この日はショッピングとビーチに行きました。海は木が透き通っていて美しかったです!夕飯は3人でおにぎり作り!その夜は、オーストラリアの文化の1つでもあるフットボールをみてとても盛り上がりました。



3日目

ホームステイ最終日!お散歩をしながら、海や湖がみえる場所に行きました。そして、教会に行き日曜日の礼拝に参加!お別れパーティーでマローさんが話してくれたことは今でも心に残っています。また会いにきたいと思いました。



DUBLIN HIGH SCHOOL

私のバディはなんとミゲルという双子の男の子でした!アフタヌーンティーやランチの時間はみんな外にでてきて遊んだり、話したりしていて、のびのびと自由に過ごせる学校だと思いました。たくさんの国の人がいて、みんなフレンドリーでした。ミゲルは面白くて優しくて紳士的なからでいい子でした。



Sightseeing

1日目と5日目は観光をしました。シドニーはきれいな建築物やお店がたくさんあって街中がお洒落でした。アロンが動物園でみたコアラはとても可愛らしかったです。



伝えよ、おにぎり文化

豪イニングマイ道



オーストラリアでのホームステイ

いがで一番楽しみだ。たけど、一番不安でもありました。私たちのホストファミリーは、とても優しく温かくおかえてくれました。なので、緊張がほぐれ、たくさん話せました。私たちは英語が苦手な、聴きとれないことが多くありました。そんな私たちのためにホストファミリーは日本語に翻訳するアプリを使って見せてくれました。ですが、日本語が字幕だと思っただけで、中国語だっただけで、ホストファミリーにも、ホストファミリーにも、サッカークラブをしたらいいな。まるで本当の家族のように接してくれました。とてもうれしかったです。私たちは手紙を書きました。ホストファミリーのお別れは、とても悲しく、号泣してしまいました。



小山 凛太郎 佐藤 叶望
内藤 輝 櫻井 真希
阿部 洋都 中里 小冬那
佐々木 竜登 高橋 小紅

一日目

サッカークラブのゲームをしたり、おみやげを渡したりしました。

二日目

朝にビーチに行き、その後、午後にはカートをしました。

三日目

午前にはビーチで泳ぎ、お昼にはおにぎりを作りました。

最後のおまじないパーティーでは、別れが、とても悲しかったです。

オペラハウス



大聖堂

DULWICH HIGH SCHOOL

私たちは2日目、日曜日、チャイスクリールに行きました。まず、パズ(学校内)の動物をみることにしました。モリナガチを愛しました。モリナガチとはオーストラリアの独自の文化で、10時くらいになると、皆でお腹を空かせて、遊んだりします。実際に体験して、皆が「アヒル」で、色々な動物の人たちが話しかけてくれました。知っている日本語を話して、とても嬉しかったです。緊張がほぐれました。

授業休憩は、ダンスやゲームや新しい動物の飼育をしてみました。ダンスやゲームでは、身ぶり手ぶりでも自分の好きな動物やスナックを選んで、同じものを食べて、楽しめました。ダンスやゲーム上手な人もいました。



シドニー市内見学

大聖堂

一日目はオペラハウスやハーバリアリウチ、オーストラリアミュージアムを見学しました。

オーストラリアミュージアムではアボリジニの骨や、ミユージアムの近くにある大聖堂に行き、写真を撮りました。

オペラハウス

一日目に見学に行ったオペラハウスでは、テレビで見たのよりも大きく見えました。オペラハウスの屋根は、白く、丸く、クレーンが乗っているのを知り、とても面白いと思いました。

オペラハウスはスタジアム、ホールが合っており、二十世紀を代表する近代建築物であり、ヨーン・ウツン氏が設計しました。ヨーン・ウツン氏は当時無名でしたが、独自の建築設計をすることによって有名になりました。オペラハウスは今世紀の設計家、オーストラリアのシンボルとして、世界中の人々に親しまれています。

その他にも、いろいろな観光地に行きました。個人的にはオペラハウスが一番良かったと思います。夜は、オペラハウスのライトアップが綺麗で、とても綺麗です。

編集後記

この冊子にエピソードが追加されました。この冊子の編集は、大変な作業でしたが、皆さんの協力のおかげで、とても楽しく進められました。皆さんの協力のおかげで、とても楽しく進められました。



中里 小冬那

「おにぎり大使 派遣事業に参加して」



石巻地区広域行政事務組合
伊藤 稔

六月十八日石巻圏域二市一町の中から選ばれた団員三十二名と引率者六名で構成されたおにぎり大使派遣団三十八名の結団式、団長から派遣団に任命された団員達の期待と不安をにじませた表情を見て、これから始まる2か月間で大きく成長していくのだろうかという期待と、この事業に関わるすべての人たちにとって素晴らしいものにしていかなくてはという強い責任感を私自身感じました。

事前研修では、「英語研修」や文化交流事業の核となる「おにぎり作り」、「南中ソーラン」、事務担当として引率の先生方や団員達にハードなスケジュールを課しているなど思いながらも、しっかりとこなし、素晴らしい成果を上げる団員の対応力の高さと団結力の強さに驚きました。特に感じたのは団員同士の仲の良さです。研修のスタートから男女仲良く課題に取り組み姿は、今年の派遣団の大きな力になると感じました。その成

果として大きくあらわれたのは南中ソーランだったと思います。少ない練習時間のなか、壮行式と現地オーストラリアで披露した南中ソーランの完成度の高さは素晴らしいの一言に尽きました。

七月二十五日石巻を出発した派遣団は、丸一日をかけてシドニーに着、この長旅で団員の体調は大丈夫かなと心配しましたが、青く澄んだシドニーの空を見た団員の顔は、疲れよりも期待に満ちた元気な笑顔で安心しました。早速バスでのシドニー見学、現地ガイドさんはおにぎり大使派遣事業で何度もお世話になってるミチコさん、初めに向かった「ミス・マッコリーズ・ポイント」は、シドニーのシンボルでもある「オペラハウス」と「ハーバーブリッジ」を眺望できる絶景ポイント、団員達もオーストラリアを一気に感じたのではと思います。その後ロックス地区を周り、現地初の食事は代表的なメニューの「フィッシュアンドチップス」、昼食後はオーストラリアの歴史を学べる「オーストラリアミュージアム」、「セントメアリー大聖堂」、「オペラハウス」を見学し、シドニーの一日目が終了しました。

二日目の学校訪問では、バディと積極的にコミュニケーションをとる団員の姿が印象的でした。授業体験やおにぎり作り、南中ソーランをバディに教える団員達、短い時間では

ありますがしっかりと交流を深めることができました。学校訪問の最後に「南中ソーラン」を披露、仲良くなったバディと別れを惜しみながらダルウィッチハイスクールを後にしました。その日の夕方、二泊三日ホームステイでお世話になるホストファミリーと対面しホームステイ先へと向かいました。

ホームステイ最終日に行われた「さよならパーティー」では、パーティーの準備も率先して手伝いホストファミリーをもてなす団員達、まるで家族のようにホストファミリーに接する様子や、涙を見せながら抱き合い別れを惜しむ団員の姿に、充実したホームステイを体験できたことが伝わってきました。

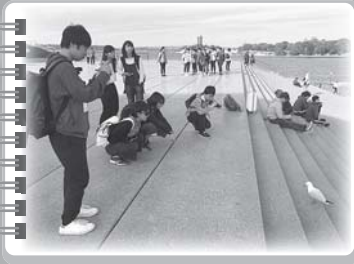
一週間と短い期間ではありましたが、中学三年生という自分たちの進路を決めていくこのタイミングで日本以外の文化に直に触れたことは、団員のこれから人生に大変意義深いものになったと思います。また、この研修を通し出会った団員同士の絆は一生の財産になるはず。団員の皆さんには、この研修で得た、仲間・経験・思い出を大事にしてください。これからの人生に大きく羽ばたいてほしいと思います。

私自身この研修を通して団員みなさんの素晴らしい笑顔に支えられ、無事終えることができましたことに感謝しています。本当にありがとうございました。

ございました。最後にありますが、お忙しい中、引率にあられました先生方、そしてこの事業にご支援とご協力をいただきました多くの皆様に深く感謝を申し上げます。



▲シドニー市内見学



市内見学 *Sydney*



Home Stay *Host Family*





Dulwich High School
of Visual Arts & Design

学校訪問



研修日記

事前研修について

事前研修は四回行われました。第一回目は団員同士の人間関係を構築するためのMAP(アイスブレイク)から始まり、メインテーマとサブテーマ「KING OF RICE(KORE)」も米は交友の核となる」と団員の役割分担を決定しました。第二、三回目は英語研修と炊飯実習、そして文化交流で発表する「南中ソラン」の練習を行い、第四回目は現地での研修に向けた最終確認をしました。

初めの頃は緊張した面持ちで活動に参加していた三十二名の団員でしたが、研修を重ねるたびにチームとしてまとまり始め、和やかな雰囲気醸成されていきました。特に「入国審査」を想定した英語研修や「南中ソラン」の練習では、団員同士が声を掛け合い、教え合う姿も見られ、おにぎり大使派遣事業に対する団員の熱意が伝わってきました。

(蛇田中学校教諭 千田光晴)

学校訪問【全般】

ダルウィッチハイスクールでは、訪問するとすぐ一緒に過ごすバディと対面しました。日本語による歓迎式を生徒によって行ってくれて、緊張も少しずつほぐれているようでした。日本語を教えている教師によるコミュニケーションの授業や英語のみの美術の授業に参加しました。どちらもバディと共に進め、交流を考えた内容でした。お昼もバディとランチを外で食べました。その後は遊んだり会話を楽しんでいました。

おにぎり作りや南中ソランでは、短い時間の中で、段取りよくおにぎり作りを英語で紹介し楽しそうに行っていました。事前研修の成果が発揮できていました。ソランについては、初めの部分のみ教えることとなり、身振り手振りで一生懸命に教えていました。言葉はなかなか通じないものがありますが、互いの文化や習慣に触れ、心を通わすことができました。大人より子ども達の吸収力の速さに驚きました。

(桃生中学校教諭 高橋 富育)

学校訪問【おにぎり作り】

おにぎり大使の使命は、おにぎりを通して日本の文化や伝統を伝え広め、国際交流を図ること。その使命を確実に達成するために、事前研修では英語でおにぎりの作り方を英語で説明する練習を、何度も繰り返し行いました。団員どうしペアを組んで練習した時は笑顔でスムーズ

に説明できても、バディ役になっていただいたALTの先生の前では、しどろもどろになってしまいう団員の姿がありました。実際に現地でおにぎりの作り方を教える際には、バディからどんな質問がされるか分かりません。とっさの対応力が求められるのだなと感じたのと同時に、実際に現地でも、中学生たちが上手く対応できるだろうか、と少々不安を抱きながらの研修でした。

そして、いよいよダルウィッチハイスクールで、バディにおにぎり作りを教える時がきました。握り方を見せながら、練習した英語で優しく丁寧に教えた、できたおにぎりを食べながら、積極的にコミュニケーションを図ったりする団員たちが、とても頼もしく感じました。団員たちは、立派なおにぎり大使としての使命を果たしてくれたと思います。

(山下中学校教諭 阿部ひとみ)

ホームステイを終えて

ホームステイを通して、生徒達は多くの経験を積むことができました。ある生徒は、「英語で伝えることができなくて悔しい思いをした。」と振り返っていました。またある生徒は、「子ども同士で遊んだり、B B Qや海に行ったりとオーストラリアの文化を楽しむことができた。」と、嬉しそうに話す様子が見られました。日本とは異なる言語環境や生活環境などにより、子ども達にとって大変な経験だったかもしれませんが、今後の生活に

おいて、オーストラリアの方々と関わることでできたのは、大きな財産になると思います。ホストファミリーの方々のパートナーの終盤では、南中ソランを披露した後、記念撮影し、肩を抱き合って涙を流しながら、別れを惜しむ姿が。文化や人種の壁を越えて、日本のおにぎりづくりがホームステイ先で披露され、「美味い！」と笑顔で話していたホストファミリーの方々の笑顔が忘れられません。

今度もホームステイを通して、おにぎりファミリーの出会の架け橋となり、子ども達が復興「石巻」をたくさん発信していくことを願ってやみません。(鳴瀬未来中学校教諭 石黒弘昭)

シドニー市内見学

シドニー市内の見学は、現地研修一日目と最終日に行われました。研修一日目、シドニー国際空港から最初の見学地ミセス・マッコリーズ・ポイントへ行きました。

ミセス・マッコリーズ・ポイントはオペラハウスとハーバリーリッジの二つのランドマークを一度に眺望できるスポット、その後はシドニーの美しい街並みを車窓から見学しながらオーストラリアの歴史を感じるロックス地区などを見学、昼食には「フィッシュアンドチップス」を食べました。昼食後はオーストラリアの歴史を体験できるオーストラリア博物館、大迫力の建築物であるセントメアリー大聖

堂、オペラハウスとシドニーを代表する名所を見学しました。現地滞在の最終日には、二百五十メートルの高さを誇るシドニーのシンボルともいえるシドニータワーからの大パノラマを楽しみ、広大な広さのタロンガ動物園ではコアラなどオーストラリアの代表的な動物を拜見できました。最終日もあつて、団員は皆、思い思いに見学地で面白い物を楽しんでいる様子が伺えました。

シドニー市内見学では、コンパクトな街でありながら有名な建造物、整備された港、多くの人種が行き交う街であり、そのシドニーを団員達は十分に楽しみ、多くの事を学び取り入れることができたことと実感しています。(事務局課長補佐 伊藤 稔)



▶派遣団引率者

平成30年度おにぎり大使派遣事業参加者名簿

○ 団 員

番号	学 校 名	学年	氏 名	班	感想文	備 考
1	石巻市立石巻中学校	3年	内 藤 輝	4	P40	
2	石巻市立石巻中学校	3年	土 井 みさき	1	P12	
3	石巻市立住吉中学校	3年	遠 藤 俊 樹	1	P 8	
4	石巻市立住吉中学校	3年	小 山 姫 奈	2	P16	実 行 委 員
5	石巻市立門脇中学校	3年	中 里 小冬那	4	P39	
6	石巻市立湊中学校	3年	杉 浦 布 実	3	P29	
7	石巻市立蛇田中学校	3年	三 浦 虎次郎	3	P33	
8	石巻市立蛇田中学校	3年	阿 部 想 来	2	P20	
9	石巻市立荻浜中学校	3年	三 國 美 波	1	P11	
10	石巻市立渡波中学校	3年	山 本 成 佳	2	P22	
11	石巻市立稲井中学校	3年	櫻 井 真 歩	4	P43	
12	石巻市立山下中学校	3年	大 島 遥	2	P17	実 行 委 員
13	石巻市立青葉中学校	3年	津 田 快 都	2	P18	
14	石巻市立青葉中学校	3年	小野寺 和 珠	1	P 6	実 行 委 員 長
15	石巻市立万石浦中学校	3年	小 山 凜太朗	4	P36	実 行 委 員
16	石巻市立飯野川中学校	3年	高 橋 裕 奈	3	P32	
17	石巻市立河北中学校	3年	鹿 野 真 聡	3	P30	
18	石巻市立雄勝中学校	3年	阿 部 洋 都	4	P42	
19	石巻市立河南東中学校	3年	佐々木 竜 登	4	P41	
20	石巻市立河南東中学校	3年	名久井 京 珠	1	P 7	副 実 行 委 員 長
21	石巻市立河南西中学校	3年	浅 野 光 祐	3	P27	実 行 委 員
22	石巻市立桃生中学校	3年	佐々木 そ ら	1	P13	
23	石巻市立北上中学校	3年	阿 部 くるみ	3	P28	
24	石巻市立牡鹿中学校	3年	伊 藤 未 来	2	P23	
25	東松島市立矢本第一中学校	3年	佐 藤 叶 望	4	P37	実 行 委 員
26	東松島市立矢本第一中学校	3年	佐 藤 邑 羽	3	P26	実 行 委 員
27	東松島市立矢本第二中学校	3年	渡 邊 悠 李	2	P19	
28	東松島市立矢本第二中学校	3年	小 室 萌	1	P10	
29	東松島市立鳴瀬未来中学校	3年	佐 藤 可 奈	3	P31	
30	東松島市立鳴瀬未来中学校	3年	丹 野 怜 奈	2	P21	
31	女川町立女川中学校	3年	鈴 木 来 哉	1	P 9	
32	女川町立女川中学校	3年	高 橋 小 紅	4	P38	

○ 引 率 者

番号	所 属	職 名	氏 名	班	感想文	備 考
1	石巻地区広域行政事務組合	事務局長	齋 藤 正 孝	-	P 4	団 長
2	石巻市立蛇田中学校	教 諭	千 田 光 晴	1	P 5	
3	石巻市立桃生中学校	教 諭	高 橋 富 有	2	P15	
4	石巻市立山下中学校	教 諭	阿 部 ひとみ	3	P25	
5	東松島市立鳴瀬未来中学校	教 諭	石 黒 弘 昭	4	P35	
6	石巻地区広域行政事務組合	課長補佐	伊 藤 稔	-	P45	事 務 局 員

